WX12K

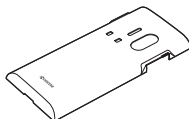
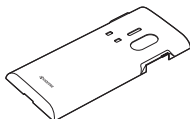
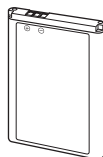
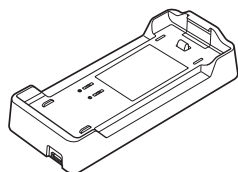
取扱説明書

はじめに

このたびは、「WX12K」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

ご注意

- 本書内の画面表記は一例です。実際の画面とは異なる場合があります。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期してはおりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

次のものがそろっているか確認してください

万一梱包内容に不足がある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
リチウムイオンバッテリーとバッテリーカバーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」（318ページ）をご参照ください。
本体以外の付属品については、別売にてお買い求めになれます。お買い求めについては、京セラホームページをご覧いただくか、京セラテクニカルサービスセンターへご相談ください。

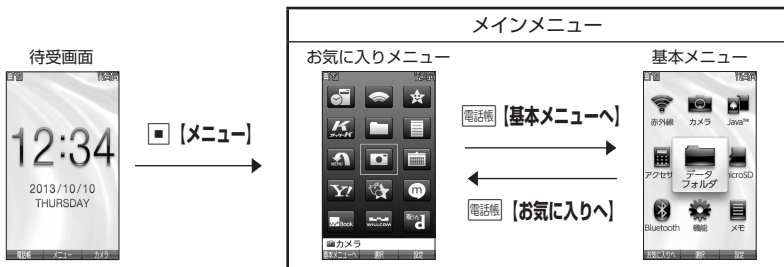
本機の操作説明について

本機の操作について、本書の他に「取扱説明書」（同梱）でも説明をしています。取扱説明書の構成は以下のとおりです。
■ 取扱説明書（同梱）：基本的な使いかたの説明をしています。
■ 取扱説明書（本書）：すべての機能について、詳細な説明をしています。
※最新のPDFはパソコンなどでダウンロードすることができます。
京セラホームページ
http://www.kyocera.co.jp/

お知らせ

●「取扱説明書」（同梱）の最新版も上記URLからダウンロードすることができます。

本書の読みかた

●本書では、「WX12K」を「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。
●本書では特定の場合を除き、「microSD™メモリカード（市販品）」および「microSDHC™メモリカード（市販品）」を「microSDカード」と略しています。
●本書での画面やイラストは、本体カラー「ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド」を例に説明しています。
●「WX12K」のメインメニュー（42ページ）は、メニュー項目をお客様のお好みで選択できる「お気に入りメニュー」と、メニュー項目が固定されている「基本メニュー」から設定することができます。

本書では「基本メニュー」で操作手順を説明しています。
お買い上げ時に表示されるメインメニューが「お気に入りメニュー」の場合は、本書をお読みいただく前に「基本メニュー」に切り替えてください。
待受画面で■ ▶ 電話帳【基本メニューへ】
●本書では、Bluetooth機能の「ペアリング」を「接続」と表記しています。

キー表示について

本書では、キーの表示を図のように簡略化しています。あらかじめご了承ください。

操作説明ページの構成

章タイトル
項目タイトル
概要を説明しています。
操作を始める状態（画面）を示しています。
ご注意
操作上の注意事項などです。
お知らせ
操作上のアドバイスや知っておくと便利な情報などです。
章インデックス
章ごとに位置がかわります。
読みたい章を探すときに便利です。
ページ
機能番号
各機能に割り当てられている番号です。
お買い上げ時の設定
操作手順
お客様がもっとも簡単な方法で操作や各種設定ができるよう書かれています。
別の方法で操作や各種設定を行うことができる場合は、お知らせ に表記しています。
セキュリティ機能の設定
本体を閉じてダイヤルロックをかける（閉めるとロック）
機能番号41
閉めるとロックを設定／解除する
ダイヤルロックを解除する
226

安全上のご注意

安全にお使いいただくために必ずお読みください

●この「安全上のご注意」には、本機を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。
●各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

表示	説明
⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷*1を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷*1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害*2を負う可能性が想定される内容や物的損害*3の発生が想定される内容」を示しています。

*1「重傷」とは、失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
*2「傷害」とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
*3「物的損害」とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

電源プラグを抜く

■ 免責事項について

●地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（事業利益の損失・事業の中断、記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●大切なデータは、コンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをお勧めします。万一、登録された情報内容が変化、消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機／バッテリー／充電用機器共通

本機・バッテリー・充電用機器のそれぞれにも注意事項の記載があります。必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

指示

必ず専用の周辺機器をご使用ください。専用の周辺機器以外を使用すると破裂・発火・火災・漏液の原因となります。
WX12K周辺機器
・ACアダプタ<オプション品>
・卓上ホルダ<CH12K>
・バッテリー<LB07KC>

禁止

高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

禁止

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では、熱くなることがありますのでご注意ください。熱くなった状態で長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

禁止

引火性ガスや油煙が発生する場所では使用しないでください。ガスに引火し、破裂・発火・火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火性ガスが発生する場所では電源を切り、充電もしないでください。

次ページへつづく ➡

禁止

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

禁止

加熱用機器（電子レンジなど）や高圧容器に入れないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

分解禁止

分解・改造・修理はしないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電・けがの原因となります。PHSの改造は電波法違反になります。故障などによる修理は、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

禁止

導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、接続端子に接触させたり内部に入れたりして接続端子をショートさせないでください。破裂・発火・火災・発熱・感電の原因となります。

禁止

高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

指示

使用中に煙が出る、異臭がする、異常な音がする、過剰に発熱しているなど異常が起きたら直ちに使用を中止してください。異常が起きた場合は、充電中であればまず充電用機器をコンセントから抜き、冷めたことを確認してから、電源を切り、バッテリーをはずしてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱の原因となります。

禁止

ACアダプタ（オプション品）は、指定以外の電源電圧は使用しないでください。また海外旅行用変圧器を使用しての充電は行わないでください。火災や感電などの原因となります。

⚠警告

禁止

通電状態で接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・けがの原因となります。

禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。水濡れ時の充電による故障は保証の対象外となり修理ができません。

水ぬれ禁止

本機は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、バッテリーカバーなどから本体内部に入った場合には、使用をおやめください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

指示

落下したり、破損したりした場合などはそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

禁止

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。部品やバッテリーなどの誤飲で窒息による事故やけがなどの原因となります。

禁止

直射日光のあたる場所（自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発火・火災の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因となります。また、本機がバイブレータ設定になっている場合、振動により落下する可能性があるため特にご注意ください。

禁止

外部から電源が供給されている状態の本機・バッテリー・充電用機器に長時間、触れないでください。低温やけどの原因となります。

本機について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

禁止

自動車・バイク・自転車などの運転中は使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・バイク運転中のPHSの使用は危険なため法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律等で罰せられる場合があります。

禁止

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

自動車などの運転者に向けて撮影ライト／録画ライトを点灯しないでください。目がくらんだり、驚いたりして、交通事故の原因となります。

指示

航空機に搭乗される場合は、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので、電源をお切りください。航空機内でのPHSの使用は法律で禁止されています。

禁止

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器の近くでPHSを使用される場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ってください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、PHSを心臓ペースメーカーなど装着部から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカー、植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、PHSの電源を切るようにしてください。
3. 医療機関の屋内では以下のことに注意してご使用ください。
   - 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはPHSを持ち込まない。
   - 病棟内では、PHSの電源を切る。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、PHSの電源を切る。
   - 医療機関が個々に使用禁止・持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。
4. 医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（平成9年3月「不要電波問題対策協議会」{現電波環境協議会}）に準拠し、また「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。
PHSについては平成12〜13年度に調査が行われ、平成17年に上記指針、報告書の内容が妥当であることが総務省より公表されています。

指示

高精度な電子機器の近くでは電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電子機器・火災報知器・自動ドアなど。医用電子機器をお使いの場合は、機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

指示

通話・メール・撮影・録画・ゲーム・インターネットなどするときは周囲の安全を確認してください。安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

指示

イヤホンを使用するときは音量にご注意ください。周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに本機の使用を中止してください。落雷・感電の原因となります。本機の電源を切って、安全な場所へ移動してください。

⚠警告

禁止

本機は完全防水ではありません。下記1〜4及び「防水／防塵性能について」（13ページ）に記載されている内容を守らずにご使用になると、発火･発熱･傷害・感電・故障の原因となります。

1. 水中で使用（キー操作を含む）しないでください。
2. 常温の真水・水道水以外の液体に浸けないでください。
3. 規定（IPX5・IPX7）（13ページ）を超える強い水流を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。
4. 砂浜などの上に置かないでください。

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

雨天・降雪中・海岸・水辺などで使用する場合の水ぬれや湿気、身に付けている場合は汗による湿気にご注意ください。感電や電子回路のショートの原因となります。

次ページへつづく ➡

本機が破損したり、電話機内部が露出したりした場合、破損部および露出部に手を触れないでください。感電したり、けがをすることがあります。そのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

心臓の弱い方はバイブレータ（振動）や音量の大きさの設定にご注意ください。心臓に影響を与える可能性があります。

赤外線ポートを目に向けて赤外線通信を行わないでください。視力障害を起こす原因となります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与える可能性があります。

暗い部屋で、画面の強い光や光の点滅を見つめないでください。強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ていると、ごくまれに、筋肉のまひや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある方は、事前に必ず医師と相談してください。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。レンズの集光作用により、発火・火災の原因となります。

ライトを目に近付けて点灯させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視したり他の人の目に向けて点灯させたりしないでください。視力障害を起こす原因となります。とくに乳幼児に対して至近距離でライトを点灯して撮影／録画はしないでください。

通常は外部接続端子カバー・バッテリーカバーなどをはめた状態で使用してください。カバーをはめずに使用していると、ほこり・水などが入り感電や電子回路のショートの原因となります。

⚠注意

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン・カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないか必ず確かめてください。

ハンドストラップなどを持って振り回さないでください。けがの原因となります。

本体を閉じるときは、手などをはさまないように閉じてください。けがの原因となります。

本体を開くときはヒンジ部(つなぎ目)に指をはさまないようにご注意ください。けがの原因となります。

キャッシュカードやフロッピーディスク等の磁気を帯びた記憶媒体や電子機器、金属製品を近づけたり、はさんだりしないでください。磁気データの消失の原因となります。

microSDカード（市販品）挿入状態から､無理に引き抜かないでください。故障・内部データ消失の原因となります。

microSDカード（市販品）は、指定品以外を使用しないでください。故障・内部データ消失の原因となります。指定品については、京セラのホームページをご覧ください。

microSDカード（市販品）の取り付け、取りはずしの際、急に指を離したりせず、指定の方向に最後まで押し込んでください。また、顔などを近づけないでください。カードが勢いよく飛び出し､けが･カード破損の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

（使用箇所） ・（使用材料） ・（表面処理）
外装ケース（LCD前面側） ・PA樹脂（ガラス繊維含有） ・アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（LCD背面側） ・アクリル樹脂 ・インモールド処理／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（KEY前面側） ・PC樹脂（ガラス繊維含有） ・アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（KEY背面側） ・PC樹脂 ・アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ヒンジ部前面側） ・PC樹脂 ・アクリル系UV硬化塗装処理
ウィンドウパネル部（メイン） ・アクリル樹脂 ・化学硬化処理
フロントジョグキー、電話帳キー、メールキー、カメラキー、Webキー、発信・通話キー、電源・終話キー、戻る（クリア）／マナーキー、センターキー、ダイヤルキー、Bluetoothキー、アプリ／ライトキー ・アクリル樹脂 ・－
サイドキー（シャッター／メモキー） ・PC樹脂 ・アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子カバー ・PC樹脂／エラストマ樹脂 ・アクリル系UV硬化塗装処理
カメラウィンドウ／ライト ・アクリル樹脂 ・化学硬化処理
赤外線ポート窓部 ・アクリル樹脂 ・化学硬化処理

禁止
耳を刺激するような大音量で長時間続けて聞かないでください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

バッテリーについて

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

禁止
バッテリーの（＋）と（－）をショートさせないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

禁止
バッテリーを本機に装着するときは、（＋）（－）を逆にしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず接続部を十分にご確認ください。

禁止
釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。

指示
直接ハンダ付けをしたり、分解・改造をしたりしないでください。バッテリー内部の液が飛び出し目に入ったりして失明などの事故や、破裂・発火・発熱の原因となります。

禁止
漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止してください。また万一近くに火気がある場合は、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、破裂・発火の原因となります。

⚠警告

指示
内部の液が目に入った場合は、こすらずにきれいな水で十分洗ったあと直ちに医師の治療を受けてください。放置すると失明するおそれがあります。

水ぬれ禁止
バッテリーは防水性能を有しておりません。バッテリーを水やペットの尿などの液体で濡らさないでください。また、濡れたバッテリーは使用や充電をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。誤って水などに濡れた場合はそのまま使用せず、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

次ページへつづく ➡

⚠注意

内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で十分に洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

不要なバッテリーは、一般のゴミといっしょに捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り絶縁してから、ウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターなどにお持ちください。バッテリーを分別回収している市町村の場合は、その条例に従って処理してください。

バッテリーの取り付け／取りはずしの際に無理な力を加えたり、無理に挿入しないでください。バッテリーまたはバッテリーカバーが破損するなどし、けがの原因となります。

充電用機器について

共通の注意事項（本機・バッテリー・充電用機器）についても記載がありますので、必ずお読みになり記載事項をお守りください。

⚠危険

所定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。バッテリーの液もれ・破裂・発火・火災・発熱の原因となります。ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡ください。

雷が鳴り出したらACアダプタ（オプション品）や卓上ホルダに触れないでください。落雷による感電などの原因となります。

⚠警告

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込む場合、電源プラグに金属製のストラップやアクセサリーなどを接触させないでください。発火・火災・感電・けがの原因となります。

充電時以外は、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。発火・火災・感電の原因となります。

ACアダプタの電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発火・火災・発熱・感電の原因となります。

充電用機器は防水性能を有しておりません。水やペットの尿など液体がかからない場所で使用してください。発熱・発火・火災・感電・ショートの原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

充電中は布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。発火・火災の原因となります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発火・火災・発熱の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたまま使用しないでください。また、傷んだ電源コードは使用しないでください。発火・火災・感電・ショートの原因となります。

お手入れをするときには、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると感電やショートの原因となります。

ACアダプタの電源プラグに付いたほこりはふき取ってください。そのまま放置すると発火・火災の原因となります。

ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源コードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

ACアダプタを本機または卓上ホルダに差し込むとき、またUSBケーブル（別売）を本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときも必ずコネクタ部分を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷し、発火・火災・感電の原因となります。

取扱上のお願い

本機／バッテリー／充電用機器共通

- 無理な力がかかると、ディスプレイや内部の基板などが破損し故障の原因となりますので、ズボンやスカートのポケットに入れたまま座ったり、カバンの中で重いものの下になったりしないよう、ご注意ください。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温、低温、多湿はお避けください。（周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき接続端子を変形させないでください。
- 汚れた場合は柔らかい布で乾拭きしてください。ベンジン／シンナー／アルコール／洗剤などを用いると外装や文字が変質するおそれがありますので、使用しないでください。
- 一般電話／テレビ／ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 通話中、インターネットの接続中、メールなどの利用中や充電中など、温かくなることがありますが異常ではありません。
- バッテリーは、電源を切ってから取りはずしてください。

本機について

- 本機で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）または、常時点灯するドットが存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。本体を開くときやご使用中は、ヒンジ部（つなぎ目）に無理な力が加わらないようにしてください。振り回したりそらしたりして本体に無理な力が加わると故障や破損の原因となりますので取扱には十分ご注意ください。
- 強く押す、たたくなど、故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。キズの発生や、破損の原因となることがあります。
- ディスプレイを硬いものでこすったりして傷付けないようご注意ください。
- ポケットおよびバッグなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材にあたらないようにしてください。また、金属などの硬い部材のストラップは、ディスプレイのキズの発生や破損の原因となることがありますのでご注意ください。
- マイク、スピーカー、エアベントなどに先の尖ったものを差し込んだり、傷つけたりしないでください。故障の原因となりますのでご注意ください。
- 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合や、湿度の高い場所で使用された場合、本機内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下での使用は故障の原因となりますのでご注意ください。
- エアコンの吹き出し口などの近くに置かないでください。急激な温度変化により結露すると、内部が腐食し故障の原因となります。
- メインディスプレイや照度センサー、キーのある面にシールなどを貼らないでください。本体を閉じたときキーなどが押されるなどして誤動作したり、閉じたときにキー操作ができなくなることがあります。また、本機が損傷するおそれがあります。
- データを再生中に無理なキー操作を行うと、データが停止するなど通常と異なる動作をする場合があります。

バッテリーについて

●本機のバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。
●夏期、閉めきった車内に放置するなど極端な高温や低温環境でのご使用は、バッテリーが膨らんだり、バッテリーの容量が低下し利用できる時間が短くなります。また、バッテリーの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
●長期間使用しない場合には、本体からはずし、ケース等に入れて高温多湿を避けて保管してください。
●はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。（充電中、バッテリーが温かくなることがありますが異常ではありません。）
●バッテリーには寿命があります。著しく膨らんだり、充電しても機能が回復しない場合は、寿命ですので、指定の新しいバッテリー（LB07KC）をご購入ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

Li-ion00

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは普通のゴミと一緒に捨てずにウィルコムプラザ・ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店にお持ちください。
充電式バッテリーの収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

microSDカード（市販品）について

●正しく取り付けてください。正しく取り付けられていないとmicroSDカードを利用することができません。
●端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
●曲げたり、折ったりしないでください。
●長時間お使いになった後、取りはずしたmicroSDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
●静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
●乳幼児の手の届く場所には置かないでください。誤って飲み込むと窒息、けがの原因となります。
●腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データの消失の原因となります。
●使用しなくなったmicroSDカードを破棄する場合、保存内容が流出するおそれがありますので、保存内容を消去するだけでなく、物理的にmicroSDカードを破壊した上で処分することをおすすめします。
●microSDカードに保存したデータは、パソコンや他のメディア（CD-R/W・DVDなど）にバックアップしてください。microSDカードの破損などにより、保存したデータが消失したことによる損害について、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

充電用機器について

●ご使用にならないときは、ACアダプタ（オプション品）の電源プラグをコンセントからはずしてください。
●本機の外部接続端子、卓上ホルダの充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。
●本機を充電するときは、卓上ホルダを使用することをおすすめします。

カメラ機能について

- カメラのレンズに直射日光があたる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
- ご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 大切な撮影／録画（結婚式など）をするときは、試し撮りをし、静止画／動画を再生して正しく撮影／録画されているかご確認ください。
- 故障、修理、その他の取り扱いにより、撮影／録画した静止画／動画データ（以下「データ」といいます。）が変化または消失することがあります。この場合当社は、変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失により生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- カメラ機能を使用して、撮影／録画が許可されていない場所や書店などで情報の記録を行うことはやめてください。

緊急速報について

- お買い上げ時、受信設定は「受信する」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。（設定によって切り替えることができます。）
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「受信する」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

著作権／肖像権について

- お客様が本機で撮影／録画／録音したものを複製、改変、編集などをする行為は、個人で楽しむ目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者に無断でこれらの行為を行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。
- 撮影／録画／録音したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影／録画／録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 著作権にかかわる画像やサウンドの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。

暗証番号について

お買い上げ時：「1234」

- 暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「1234」が設定されていますが、お客様が必要に応じて暗証番号を変更することができます（「暗証番号を変更する」231ページ）。
- 暗証番号は秘密保持および、誤操作防止のために使用される大切な番号です。番号をお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご用意のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくこととなりますのでご注意ください。（預かり修理・有償）

暗証番号				

- 暗証番号は、セキュリティ（閉めるとロック／着信拒否／操作ロック／シークレットモード／暗証番号変更／本体リセット／リモートロック）、LI設定、Bluetooth、赤外線通信、全件削除等の機能をご利用いただく際に必要となります。

■ リモートロックのパスワードについて

お買い上げ時：
未登録

●リモートロックのパスワード(234ページ)は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4〜8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご用意のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくことになりますのでご注意ください。（預かり修理・有償）

パスワード								

■ 管理者用暗証番号について

お買い上げ時：
「12345678」

●管理者用暗証番号は、管理者ロックの機能をご利用いただく際に必要となります。
●管理者用暗証番号を必ずご確認ください。お買い上げ時には「12345678」が設定されていますが、お客様が必要に応じて管理者用暗証番号を変更することができます(「管理者用暗証番号を変更する」239ページ)。
●管理者用暗証番号は、本機の4桁の暗証番号とは異なり、お客様の必要に応じて4〜8桁の数字で設定することができます。番号をお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、本機とウィルコムの申込書の控え、または契約内容確認書類と身分証明書（顔写真の入ったもの）をご用意のうえ、ウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターまでご連絡いただくことになりますのでご注意ください。（預かり修理・有償）

暗証番号								

防水／防塵性能について

本機は、IPX5相当、IPX7相当の防水性能およびIP5X相当の防塵性能（外部接続端子カバー・バッテリーカバーが完全に装着された状態で当社試験方法による）を備えておりますが、この「防水／防塵性能について」に記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障などの恐れがあります。安全にお使いいただくために、この「防水／防塵性能について」の内容をよくお読みになってからご使用ください。

- IPX5相当
  内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。
- IPX7相当
  常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に電話機本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず、電話機としての機能を保つことを意味します。
- IP5X相当
  防塵試験用粉塵（直径75μm以下）が入ったとしても所定の動作および安全性を損なわないように保護されていることを意味します。

ご使用にあたっての重要事項

- 浸水の原因となるため、外部接続端子カバーをしっかりと閉じて、バッテリーカバーを確実に取り付けてください。外部接続端子カバー、バッテリーカバーが浮いていることのないように、完全に閉じていることを確認してください。

- 接触面に微細なゴミ（髪の毛一本、砂粒一個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 手や本機が濡れている状態での外部接続端子カバー、バッテリーカバーの開閉は絶対にしないでください。
- 砂浜などの上に置かないでください。マイク（送話口）・スピーカーなどに砂などが入り、音が小さくなる場合があります。
- 水中で使用（開閉、キー操作を含む）しないでください。
- 常温の真水・水道水以外の液体（石けん・洗剤・入浴剤、温泉、熱湯、砂・泥、海水、プールの水、アルコールなど）をかけたり、浸けないでください。

石けん・洗剤・入浴剤

温泉

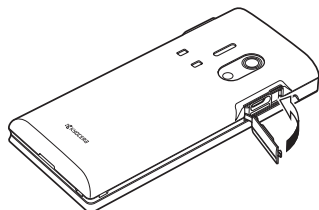
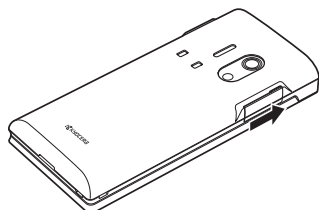
熱湯

砂・泥

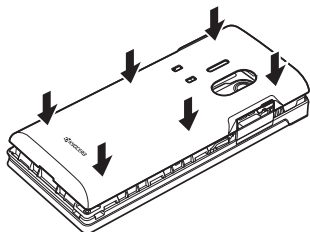
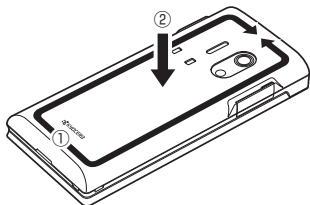
海水

プールの水

■ 外部接続端子カバーの閉じかた

1 外部接続端子カバーのヒンジを収納し押しこみます。

2 矢印の方向になぞり、外部接続端子カバーが浮いていることのないよう確実に閉じます。

■バッテリーカバーの閉じかた

バッテリーカバーが浮いていることのないように、確実に閉じてください。

1 バッテリーカバーと本体を合わせるように置き、バッテリーカバーを矢印の方向へ押します。

2 バッテリーカバーの外周を①の方向になぞり、②の方向にしっかり押さえ、完全に装着させます。

注意事項について

■利用シーン別注意事項

<雨の中>

●強い雨（1時間あたりの雨量が20mm以上）の中で使用しないでください。

●雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、バッテリーカバーの開閉は絶対にしないでください。

<バスルーム>

●浴槽に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。

●石けん、洗剤、入浴剤の入った水、温泉水には浸けないでください。

●温水シャワーを直接当てないでください。

●高温のお湯をかけないでください。

●バスルームへの長時間の持ち込みはお避けください。

●周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～85%の範囲で使用してください。

●卓上ホルダをバスルームへ持ち込まないでください。また、結露した状態では使用しないでください。

<キッチン>

●石けん、洗剤、調味料、ジュースなど真水・水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。

●高温のお湯や冷水をかけたり、浸けたりしないでください。

●コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になるところに置かないでください。

●強い流水（6リットル／分を超える）をかけないでください。

<プールサイド>

●プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。

●プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。

＊：やや弱めの流水（6リットル／分以下）

■共通注意事項

●外部接続端子カバーをしっかりと閉じ、バッテリーカバーが正しい位置にあることを確認のうえ、確実に取り付けてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。

●外部接続端子カバーや、バッテリーカバーをはずしたときの本体側のゴムパッキンに、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。

●手袋などをしたまま、外部接続端子カバーの開閉をしたり、バッテリーカバーの取り外し／取り付けをしたりしないでください。手袋などに付着している微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも挟まると、浸水の原因となります。

●外部接続端子カバーの開閉をしたり、バッテリーカバーの取り外し／取り付けをしたりするときは、本機や手に水滴・砂・汚れなどが付着していないことを確認してください。付着している水滴・砂・汚れなどが本体内部に入り込んだり、カバー類に挟まるなどして、故障や浸水の原因となります。わずかでも付着している場合は、本機や手の水滴・砂・汚れなどを繊維くずの出ない乾いた清潔な布で拭き取ってから、作業を行ってください。

●本機に水滴が付着したまま放置しないでください。隙間から水分が入り込んでいたりする場合があります。また、濡れたままですと、音が小さくなる場合があります。水で濡れた場合は、本機を振る（16ページ）などして水を取り除き、本機から出た水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。寒冷地では、本機に水滴が付着していると、凍結し故障の原因となります。

●本機の防水性能は真水・水道水にのみ対応しており、温水や塩水、洗剤、薬品、汗などには対応しておりません。真水・水道水以外の水分（海水・洗剤など）、または砂・泥などが付着した場合は、速やかに常温の水道水*で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用せず、外部接続端子カバー、バッテリーカバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

*：やや弱めの流水（6リットル／分以下）

●耐水圧設計ではありませんので、規定（IPX5･IPX7）を超える強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を当てたり、水中に長時間沈めたりしないでください。

●洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。

●水中で強い衝撃を与えないでください（例：水の張った洗面台、トイレ、洗濯機に落とさないでください）。

●本機以外の付属品（ACアダプタ（オプション品）、卓上ホルダなど）は、防水／防塵性能を備えておりません。

●本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。外部接続端子に水が付着したままで充電を行った場合、故障・発熱などのおそれがあります。

●マイク（送話口）・スピーカー・エアベントの穴を尖ったものでつつかないでください。

●外部接続端子カバー・バッテリーカバーをはずしたときの本体側のゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。以下のことにご注意ください。

・はがしたり、傷つけたりしないでください。
・ゴミなどが付着しないようにしてください。微細なゴミ（繊維くず、髪の毛一本、土、砂粒一個など）がわずかでも付着していると、浸水の原因となりますので、必ず取り除いてください。
・真水･水道水以外の液体（温水や塩水、洗剤、薬品、汗など）が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
・カバー類を閉める際はゴムパッキンを噛み込まないよう注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷つき、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
・防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをお勧めします。お客様ご依頼による部品交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。お近くのウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターまでお問い合わせください。

●落下させるなど本機に強い衝撃を与えないでください。防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。

●本機は水に浮きません。

●熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。本機は耐熱設計ではありません。

●周囲温度5℃～35℃（ただし、36℃～40℃であれば一時的な利用は可能です。）、湿度35%～85%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。

●急激な温度変化は結露の原因となります。寒いところから暖かいお風呂などに本機を持ち込むときは本機が常温になってから持ち込んでください。本機は結露に対して特別な対策を実施しておりません。

※ディスプレイの内側に結露が発生した場合は、結露がとれるまで常温で放置してください。

次ページへつづく

●想定される使われ方に即した試験を行い、性能を満足することを確認していますが、実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となり有償修理となります。

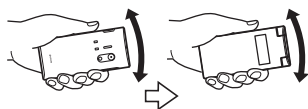
■水に濡れたときは

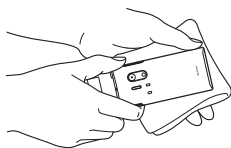
本機に水滴が付着したまま使用すると、マイク（送話口）・スピーカーに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。また、隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、下記の手順で本機の水分を取り除いてください。

1 本機表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取る

2 本機をしっかり持ち、水が出なくなるまで矢印の方向に振る

・振る際は周りに危険がないことを確認してください。
・本機が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

マイク（送話口）側：各 10 回以上

ヒンジ側：各 20 回以上

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本機を軽く押し当て、マイク（送話口）・スピーカー部・ヒンジ部などの隙間に入った水分を拭き取る

4 本機から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させる

上記手順を行ったあとでも、本機に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまう恐れがありますのでご注意ください。

■充電のときは

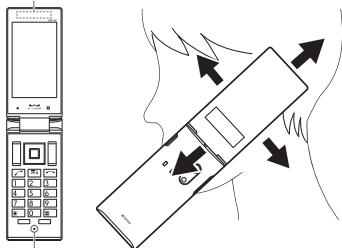
付属品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

●本機が濡れていないかご確認ください。濡れている場合は、よく水抜きをして、繊維くずの出ない乾いた清潔な布で水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
●水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして、繊維くずの出ない乾いた清潔な布で水を拭き取ってから卓上ホルダに差し込んだり、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
●外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
●本機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。水が付着したままで充電を行った場合、故障・発熱などの恐れがあります。
●濡れた手でACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）は、水のかからない状態で使用してください。火災や感電の原因となります。
●ACアダプタ（オプション品）・卓上ホルダ・USBケーブル（別売）は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

スマートソニックレシーバー®について

本機は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。レシーバー（受話部）に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

耳への当てかた

下図のように、本機のレシーバー（受話部）付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本機の位置を上下左右に動かし、調整してください。

ご注意

- 通話時に本機のマイク（送話口）を指などでふさがないようにご注意ください。
- イヤホン変換ケーブルを接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
- メインディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
- 聞き取りやすさには個人差があります。
- 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

Bluetooth®について

■周波数帯について
本機のBluetooth機能は、2.4GHz帯の2.402 GHzから2.480GHzまでの周波数を使用します。

2.4FH1
本機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

2.402GHz～2.480GHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

■Bluetoothについてのお願い

- 本機のBluetooth機能は日本国内およびFCC規格に準拠し、認定を取得しています。一部の国／地域ではBluetooth機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- Bluetooth機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、Bluetooth機器により、通信速度や通信距離は異なります。

次ページへつづく

■Bluetoothご使用上の注意
本機のBluetooth機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、ウィルコムプラザ・ウィルコムカウンターもしくは「ウィルコムへのお問い合わせ」（裏表紙）までお問い合わせください。

お知らせ

- 本機はすべてのBluetooth機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetoothの標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetoothによるデータ通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

携帯電話／PHS電話機のリサイクルについて

携帯電話／PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機、バッテリー、充電用機器をブランド／メーカーを問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

ご注意

- 回収した電話機、バッテリー、充電用機器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

microSDカード（市販品）を使う

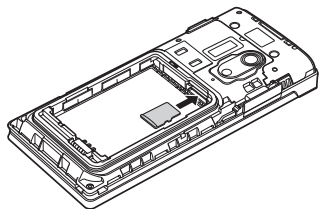
- microSDカードは、本機の外部メモリとして使用できます。撮影した静止画、録画した動画、電話帳、スケジュールなどのバックアップや、データ移動が可能になります。
- 本機には、microSDカードおよびmicroSDアダプタは同梱されていません。市販品のmicroSDカードおよびmicroSDアダプタをご購入いただき、ご利用ください。
- 本書で記載しているmicroSDカードの最大保存件数や最大保存容量は、使用するmicroSDカードや使用状況により異なります。
- 本機では、最大32GバイトのmicroSDカード（microSDHC規格を含む）を使用できます。当社基準において動作確認したmicroSDカードについては、京セラのホームページをご覧ください。
- microSDカード内のデータ読み出し中や書き込み中は、microSDカードを取り出したり、振動・衝撃を与えたり、本機の電源を切ったり、バッテリーを取りはずしたりしないでください。故障や内部データ消失の原因になります。ご注意ください。

microSDカードの取り付け／取りはずし

microSDカードは電源をOFFにした状態でバッテリーを取りはずしてから、取り付け／取りはずしを行います（318ページ）。

■microSDカードを取り付ける場合

1 電源がOFFになっているか確認し、バッテリーカバー、バッテリーを取りはずす

2 microSDカードスロット部のイラストの向きに合わせ、ロックするまでまっすぐ奥まで差し込む

3 バッテリー、バッテリーカバーを取り付け、電源をONにする

メインディスプレイのピクト表示エリアに「SD」が表示されていることを確認します。

■ microSDカードを取り出す場合

1 電源がOFFになっているか確認し、バッテリーカバー、バッテリーを取りはずす

2 microSDカードスロット部のmicroSDカードを軽く押す

3 microSDカードが手前に少し出てきたら、引き抜く

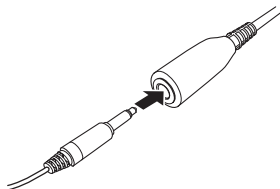
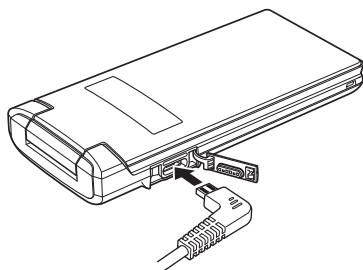
4 バッテリー、バッテリーカバーを取り付け、電源をONにする

ご注意

- microSDカードは、向きに注意して、まっすぐに差し込み、まっすぐに引き抜いてください。
- ご利用になるmicroSDカードによっては、取り出しにくい場合があります。取り出しにくいときは無理に取り出すと故障の原因になりますので、microSDカードを再度軽く押して取り出してください。
- ご利用になるmicroSDカードによっては、ロックができない場合があります。ロックができずに出てこないときは、microSDカードを軽く引き出してから取り出してください。ロックができずに出てきてしまうときは、microSDカードを一度取り出し、再度まっすぐに差し込んでください。

イヤホン（市販品）を使う

市販のイヤホン変換ケーブルとイヤホンなどを接続して利用します。

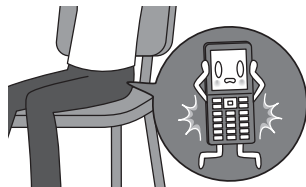
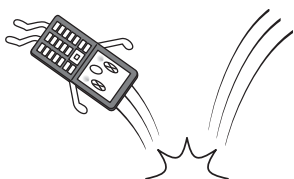
1 イヤホン変換ケーブルとイヤホンを接続する

2 外部接続端子を開け、イヤホン変換ケーブルのmicroUSBプラグを差し込む

ご注意

- イヤホン変換ケーブルを利用する際は必ず、手順1→手順2の順番で接続してください。また、イヤホン変換ケーブルは手順2→手順1の順番で取りはずしてください。
- φ3.5（4極）のイヤホンマイクを使用することで、応答操作などをすることができます。ただし、すべてのイヤホンマイクとの動作を保証するものではありません。
- イヤホン変換ケーブルを外部接続端子から引き抜くときは、コードを引っ張らないでください。
- ご使用後は外部接続端子カバーをしっかり閉じてください。水分やほこりが侵入すると故障の原因となります。

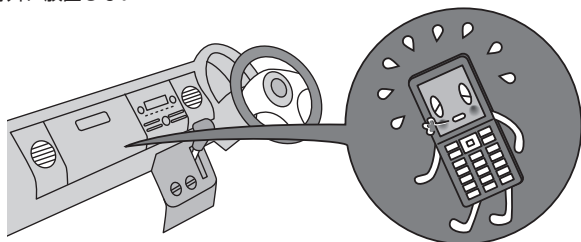
安全・快適にご使用いただくために

● 強い衝撃・無理な力は与えないで ●

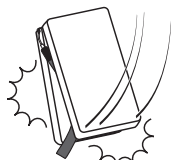
落下させるなど、強い衝撃を与えないでください

ズボンやスカートのポケットに本機を入れたまま座らないでください

● 高温や低温の場所に放置しないで ●

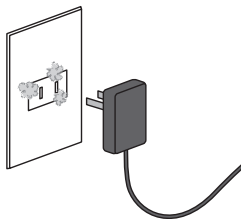
極端な高温、低温、多湿はお避けください

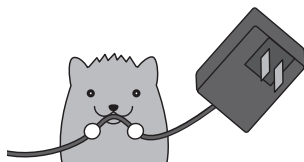
・炎天下、ダッシュボードなどに放置しない
・冬季の野外に放置しない

● 開閉の際はご用心 ●

ヒンジ部に指や手を挟んでケガをしないようにご注意ください

指や手、ストラップなどを挟んで本機が破損しないようにご注意ください

● バッテリー・充電に関するご注意 ●

充電するときは確認してください

・ほこりや金属等（ストラップ、ヘアピン、ネックレス等）で充電用機器や電源プラグをショートさせない
・純正品以外のバッテリーや、オプション品以外の充電用機器を使用しない

ACコードを傷つけないでください

・ペットに噛まれないように注意する
・コードの無理な抜き差しはしない
※傷ついたACコードは使用しないでください。

バッテリーの寿命について

バッテリーは充電を繰り返すごとに消耗していきます。お買い上げ時に比べ、1回の充電で利用できる時間が半分程度になったら交換時期です。

【バッテリーの寿命が早まる原因】

・高温環境での使用、放置、および保管
・充電しながらの長時間の使用
・頻繁に充電を繰り返す
※本機のバッテリー残量表示が1本になってから充電することをおすすめします。

バッテリーの消耗について

使用する機能や操作の状況により、バッテリーの消耗が早くなるケースがあります。

・長時間のキー操作（ゲーム、メール、Webなどの利用）
・電波の弱い場所での利用や長時間の移動
・ストラップや装飾シールでキーがおされた状態

アフターサービスについて（→332ページ）

目次

●文字の入力と設定　68

●電話帳の使いかた　76

●メールの使いかた　90

次ページへつづく ➡

●インターネットの使いかた　124

●カメラの使いかた　158

●データフォルダの使いかた 176

●音／バイブレータの設定 194

●画面／照明の設定 202

●カレンダーの使いかた 212

●セキュリティ機能の設定 226

●その他の便利な機能 252

●赤外線通信の使いかた　284

●Bluetooth®の使いかた　288

●データ通信の使いかた　304

●ウィルコムの各種サービス　310

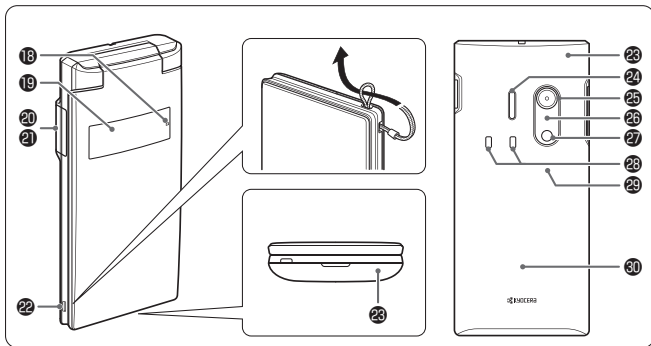
●ソフトウェアの更新　316

次ページへつづく

●付録 318

各部の名称と機能

※本体カラー「ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド」で説明しています。

*：本機は防水仕様のため、密閉度が高くなっています。そのため、エアベント（空気抜き用の穴）を設けています。
- エアベントは防水性に影響を与えません。
- 保護シートやシールでエアベントをふさがないでください。

❶ **レシーバー（受話部）**
通常の受話口の代わりに、スマートソニックレシーバーで通話中の相手の方の声などがここから聞こえます。詳しくは「スマートソニックレシーバー®について」（17ページ）をご参照ください。

❷ **メインディスプレイ**
（「メインディスプレイの見かた」32ページ）

❸ **照度センサー**
（「メインディスプレイの照明の明るさ／点灯時間を設定する」209ページ）

❹ **センターキー■**
各機能の登録や設定をするとき、また選択した項目を確定するときに押します。また、操作ガイド表示エリアの中央に表示している機能を実行するときに押します。

❺ 電話帳キー[電話帳]
電話帳を利用するときや、操作ガイド表示エリアの左側に表示している機能を実行するときに押します。

❻ メールキー[メール]
Eメールやライトメールを利用するときに押します。また、ページをめくるときや、文字入力時の入力モードを切り替えるときに押します。

❼ 発信・通話キー
電話をかけるときや受けるときに押します。

❽ 戻る（クリア）／マナーキー[戻る]
入力した文字を訂正するときや1つ前の操作に戻るときに押します。また､マナートーク／マナーモードを設定するときに押します。

❾ Bluetoothキー[Bluetooth]
Bluetoothの各種操作を行います。待受画面で長く（1秒以上）押して、Bluetoothの接続や機能をOFFにすることができます。

❿ マイク（送話口）
通話中に自分の声を相手に伝えます。

⓫ フロントジョグキー
画面上のカーソルを移動するときに押します。待受中は以下のように使用します。
- ◀は着信履歴を表示
- ▶は発信履歴を表示
- ▲▼は「上下キー割り当て」（267ページ）で設定した機能の操作

⓬ カメラキー[カメラ]
カメラを利用するときや、操作ガイド表示エリアの右側に表示している機能を操作するときに押します。

⓭ Webキー[WEB]
ブラウザ（インターネット）を利用するときに押します。
また、ページをめくるときに押します。

⓮ 電源・終話キー
電源を入れるときや切るときに長く（2秒以上）押します。また、通話や機能を終了するときに押します。

⓯ ダイヤルキー
電話番号や文字を入力するときに押します。

⓰ アプリ／ライトキー[アプリ]
Java™アプリ一覧を表示します。待受画面で長く（1秒以上）押して、ライトを点灯させることができます。

⓱ シャッター／メモキー（サイドキー）
カメラのシャッターとして使用します。また、サブディスプレイの表示を切り替えるときや、録音再生メニューを表示するときに押します。

⓲ ランプ
電話がかかってきたときや充電中などに点滅／点灯します。

⓳ サブディスプレイ
（「サブディスプレイの見かた」34ページ）

⓴ 外部接続端子カバー

㉑ 外部接続端子
USBケーブル（別売）でパソコンなどに接続したり、ACアダプタ（オプション品）を接続したりします。
本機で使用するUSBケーブルは「USB（A）オス－USB（Micro-B）オス」です。

㉒ ハンドストラップ取付部

㉓ アンテナ（内蔵）

ご注意

● アンテナは本体に内蔵されています。電波が弱い状態のときにアンテナ付近に触れると、電話がつながらない、通話が途切れる、電話が切れることがありますので、アンテナ付近（表面、裏面）を指などで覆わないでください。

㉔ スピーカー
電話がかかってきたとき、着信音が鳴ります。また、音楽データもスピーカーから再生されます。

㉕ カメラ（レンズ部）
カメラで静止画の撮影や動画の録画をします。

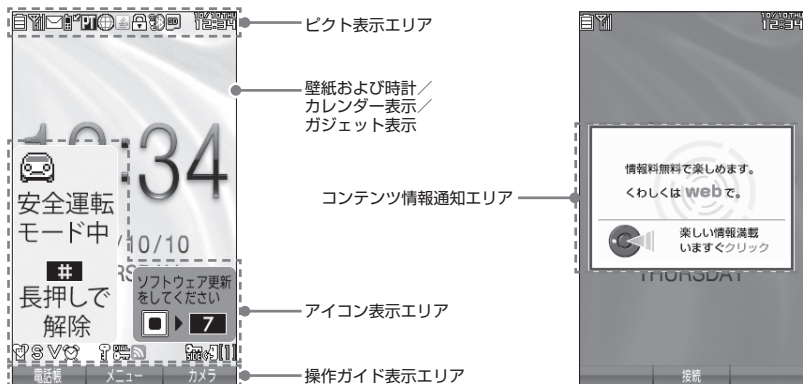
㉖ 赤外線ポート
赤外線通信を行うとき、データの送受信部になります（284ページ）。

㉗ ライト
暗い場所などでカメラを使用するとき、撮影ライト／録画ライトとして点灯させることができます。

㉘ 充電端子
卓上ホルダを使って充電するとき、ここが接続部になります。

㉙ microSDカードスロット部（内蔵）
microSDカード（市販品）を、バッテリーカバーをはずして挿入します（「microSDカードの取り付け／取りはずし」18ページ）

㉚ バッテリーカバー

メインディスプレイの見かた

アイコンの説明			アイコンの解除操作
（バッテリー残量、充電中は点滅）	（ピンク）	わずか（要充電）	―*2
		少（要充電）	
		中	
		十分	
*1（電波状態）			―*2
	圏外	微弱 ←→ 強	
	未読のメールあり		未読メールをすべて既読にする
	センターにEメールあり		108ページ
	電話に出られなかった着信あり		待受画面でを押す
	通話中		を押す
（通信中表示）		パケット方式	―
		フレックスチェンジ方式	
		32kPIAFS	
		64kPIAFS（ベストエフォート型）	
		64kPIAFS（ギャランティ型）	
	データ送受信中に点滅		―
	JavaTMアプリ起動中		―
	SSL通信中		―

アイコンの説明			アイコンの解除操作
Bluetooth	(青)／(グレー)	親機モード、またはだれとでも定額パス／テザリングで接続中／未接続	292ページ
	(青)／(グレー)	子機モード中に1台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が1台の場合	
	(青)／(グレー)	子機モード中に2台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が1台の場合	
	(青)／(青)	子機モード中に1台目／2台目の機器と接続中 ※登録機器が2台の場合	
	(青)／(グレー)	子機モード中に1台目、2台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が2台の場合	
	(青)／(グレー)	お知らせシェアで接続中／未接続	
		microSDカード挿入時	ー
		microSDカードアクセス中に点滅	
10/10THU 12:34		時刻表示	ー
		標準マナーモード	待受画面で戻るを長く（1秒以上）押す
		オリジナル1マナーモード	
		オリジナル2マナーモード	
		サイレントマナーモード	
		音声着信の音量「OFF」に設定中	194ページ
		音声着信のバイブレータ「ON」に設定中	194ページ
		アラーム設定中	252ページ
		シークレットモード設定中	231ページ
		閉めるとロック設定中／ダイヤルロック中	226ページ
		伝言メモ設定中	待受画面でシャッター／メモ（サイドキー）を長く（1秒以上）押す 58ページ
		音声／伝言メモあり	60ページ
[1]～[10] *3		音声／伝言メモの録音件数	60ページ
		安全運転モード設定中	待受画面で#を長く（1秒以上）押す
安全運転モード中 # 長押しで解除			
		サイドキー操作無効設定中	待受画面で*を長く（1秒以上）押す
	(グレー)	RSSリーダーの「自動更新設定」を「自動更新しない」以外に設定したとき 自動更新で、取得する情報がなかったとき	149ページ
	(オレンジ)	新着RSS記事を取得できたとき	
	(赤と黒)	RSSリーダーの自動更新に失敗したとき	

アイコンの説明		アイコンの解除操作
*4	ソフトウェアの更新が必要	ソフトウェア更新をする 待受画面で■▶7▶I 316ページ
*5	コンテンツ情報通知あり	ポータルサイトへ接続する 待受画面で■▶I 148ページ

*1：分計発信時には、「 」が水色に表示されます。
*2：アイコンを解除することはできません。
*3：未再生の伝言メモがあるときは、赤く表示されます。
*4：本機には、ソフトウェアがバージョンアップされたり、新しいサービスが追加された場合に、ソフトウェアの更新が必要であることを自動でお知らせする機能が搭載されています。
*5：表示されるアイコンは定期的に変わります。

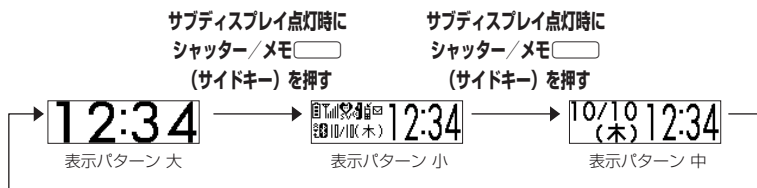
ご注意

- 本書内の画面表記では、ピクト表示エリアを省略している場合があります。
- 本書内の画面表記は実際の画面と書体や形状、明るさが異なる場合があります。

お知らせ

- 「壁紙オプション」（205ページ）を「ガジェット」に設定しているときは、待受画面に、ガジェットプレーヤーに登録しているガジェットを表示することができます。

サブディスプレイの見かた

本体を閉じた状態のときに、サブディスプレイから各種情報を確認することができます。また、時刻や各種情報を音声で読み上げてお知らせすることもできます（47ページ）。
表示内容は「時計表示」（206ページ）で設定することができます。「時計表示」を「サイクル」に設定している場合、サブディスプレイが点灯しているときにサイドキーを押すと、表示内容が切り替わります。

（バッテリー残量、充電中は点滅）		わずか（要充電）
		少（要充電）
		中
		十分
（電波状態）*	圏外	微弱 ←→ 強
		標準マナーモード
		オリジナル1マナーモード
		オリジナル2マナーモード
		サイレントマナーモード
		通話中
		音声着信の音量「OFF」に設定中
		音声着信のバイブレータ「ON」に設定中
PT（通信中表示）	PT	パケット方式
	FC	フレックスチェンジ方式
		32kPIAFS
		64kPIAFS（ベストエフォート型）
		64kPIAFS（ギャランティ型）
		伝言メモ設定中

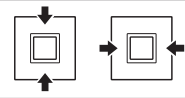
		安全運転モード設定中
10/10		日付表示
（木）		曜日表示
12:34		時刻表示
		新着のメールあり
		電話に出られなかった着信あり
Bluetooth	／	親機モード、またはだれとでも定額パス／テザリングで接続中／未接続
	／	子機モード中に1台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が1台の場合
	／	子機モード中に2台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が1台の場合
	／	子機モード中に1台目／2台目の機器と接続中 ※登録機器が2台の場合
	／	子機モード中に1台目、2台目の機器と接続中／未接続 ※登録機器が2台の場合
	／	お知らせシェアで接続中／未接続

*：分計発信時には、「」のように反転して表示されます。

お知らせ

● サブディスプレイの「表示設定」（206ページ）を「ON」に設定すると、本機を閉じたときに約2秒間、またはサイドキー押下時に約10秒間サブディスプレイが点灯します。
ただし、「着信番号表示」（206ページ）を「ON」に設定している場合にメールを受信したときは、上記の時間以上にサブディスプレイが点灯する場合があります。
● サブディスプレイは、着信したときやメールを受信したときなどに以下のように表示内容が変わります。

状態	表示内容
着信中／ライトメール受信時	電話番号／電話帳に登録されている名前
Eメール受信時	Eメールアドレス／電話帳に登録されている名前
不在着信あり／新着メールあり	不在着信件数／新着メール件数*
お知らせシェア受信時	お知らせシェアの受信件数
緊急速報受信時	緊急速報の受信通知

*：不在着信件数／新着メール件数表示中は、サブディスプレイの表示パターンを変更できません。
表示パターンを変更するには、以下の操作をしてください。
・不在着信／新着メールを確認する
・本体を開いてを押す

● ボイス通知でお知らせする内容を変更したり、お知らせをしないようにすることもできます（200ページ）。
● マナーモード設定中は「ボイス通知」の設定に従います（62ページ）。
● サブディスプレイが消灯している場合、表示内容は見えません。

キー操作の基本

ここでは、各キーの使いかたと、本書内でのキー表記について説明します。

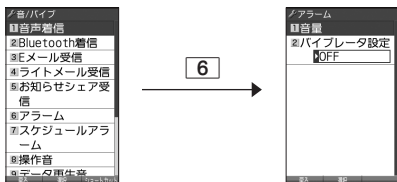
カーソルを動かして選択／確定する（フロントジョグキー／センターキー）

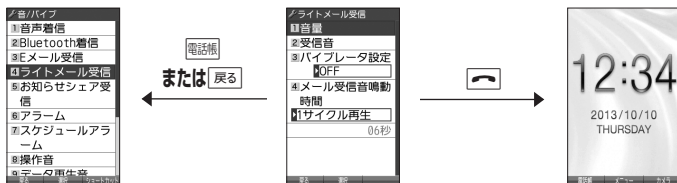
本書内の表記	キーの操作	説明
▲▼ または ◀ ▶		項目を選択したり、文字入力中にカーソルを動かしたりするときに使用します。▲▼を押し続けると画面をスクロールすることができます。
■		選択されている項目の確定や、文字入力中の変換候補の確定に使用します。また、操作ガイドエリアの中央に表示されている機能を実行するときにも使用します（「ソフトキーの操作について」37ページ）。

■ 各種メニュー画面で項目を選択して決定する場合

数字キーを使って項目を選択する（ダイヤルキー）

メニュー項目の左側に番号やアイコン（0～9、✳、♯、、メールキー、Webキー）が表示されているときは、（カーソルを合わせ■で選択する以外に）対応するダイヤルキーを押して選択／決定することができます。

例：項目6を選択する場合

一つ前の画面に戻る／操作を中止する（クリアキー／電源・終話キー）

途中操作がわからなくなったときや間違えたときは、［戻る］または［電話帳］【戻る】（操作ガイド表示エリアに【戻る】が表示されている場合）を押すと前の画面に戻ることができます。
また、［終話］を押すと操作を中止して待受画面に戻ることができます。ブラウザ起動中の場合は、表示画面はそのままでオフラインになります。「すぐ文字」やメールなどの一部画面では、表示している画面により［終話］を押した後に戻る画面が異なります。

ページをめくる（メールキー／Webキー）

すべての項目が1画面で表示しきれない場合に、［メール］（メールキー）、［WEB］（Webキー）を使って画面単位で前／次の画面に切り替える（ページをめくる）ことができます。このとき、画面右にスクロールバーが表示されます。

ソフトキーの操作について

メインディスプレイの操作ガイド表示エリアに表示されている機能を表示／実行するときは、表示位置に対応するキーを押します。

本書での表記	説明	
電話帳	操作ガイド表示エリアの左側に表示された機能を実行します（右図では【戻る】で1つ前の画面に戻ります）。	戻る 登録 メニュー 電話帳 ■ カメラ
■	操作ガイド表示エリアの中央に表示された機能を実行します（右図では【登録】で項目を登録します）。	
カメラ	操作ガイド表示エリアの右側に表示された機能を実行します（右図では【メニュー】でメニューを表示します）。	

ご使用前の準備

バッテリーの充電について

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電用機器（オプション品）で充電してからご使用ください。
※バッテリーの取り付けかたについては、「バッテリーの交換」（318ページ）をご参照ください。

■ **充電時間とご利用可能時間**

充電時間	約2.5時間	空のバッテリーを充電用機器（オプション品）を利用して充電したときにかかる時間
連続待受時間	約720時間	電源を入れたまま、キー操作や通話を行わないで待受状態を続けられる時間
連続通話時間	10時間	通話を続けられる時間

ご注意

- 「連続待受時間」とは、十分に充電された新品のバッテリーを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態で算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など）では、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- 実際のご利用可能時間は、発信、着信の回数によって異なり、実際に使用された通話時間や移動距離が長い場合には短くなります。また、電波の届きにくい場所（ビル内、カバンの中、サービスエリア内外の移動など）での待受、移動距離、バッテリーの充電状態、機能の設定状態、気温などの使用環境により通話／待受時間は半分以下になる場合があります。
- 充電完了前でも、充電可能な温度でなくなると充電を停止する場合があります。充電が停止したときは、ランプは消灯します。充電可能な温度になると、充電を再開します。
- 高温な場所で充電中に本機を使用すると、本体が高温になり充電が停止されることがあります。この場合は本体の温度が下がるのを待って再度充電してください。
- 本体を開いた状態およびメインディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（電話帳操作／メール操作／Web操作／カメラ操作など）が多い場合、連続待受時間、連続通話時間が短くなります。
- メインディスプレイの照明／節電画面の設定やキーバックライトの点灯時間の設定によって、ご利用できる時間が短くなります。
- バッテリーを空の状態で放置しないでください。バッテリーが空の状態で放置されると、充電できなくなる場合があります。長期間使用しないときは、ときどき充電をして空の状態を避けてください。
- バッテリーには寿命があります。長時間のキー操作や充電しながらの長時間使用、または頻繁な充電の繰り返しにより、バッテリーの寿命が短くなります。バッテリーが膨らんできたり、最初に比べて利用時間が半分程度になってきたら交換時期です。指定の新しいバッテリー(LB07KC)をお買い求めください。なお、バッテリーの寿命は使用状態などにより異なります。
- 充電するときは、本機のバッテリー残量表示が1本になってから充電することをおすすめします。
- 不要になったバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

環境保護のため、寿命がきたバッテリーは一般のゴミと一緒に捨てずにウィルコムプラザ・ウィルコムカウンター、またはリサイクル協力店にお持ちください。
充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：
社団法人電池工業会
TEL：03-3434-0261
ホームページ：http://www.baj.or.jp

充電する

お買い上げ時、バッテリーは十分に充電されていません。初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電用機器（オプション品）で充電してからご使用ください。

ご注意

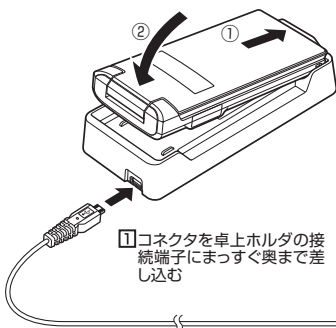
● 39ページと41ページに記載している充電方法以外を利用した場合に発生した損害などについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

お知らせ

● 充電中のディスプレイとランプの表示は以下のとおりです。

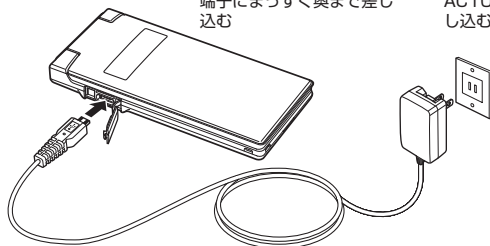
箇所	充電中		充電完了	
	電源ON時	電源OFF時	電源ON時	電源OFF時
メインディスプレイ	の点滅	表示なし	の点灯	表示なし
ランプ	赤点灯		消灯	
サブディスプレイ*	の点滅	表示なし	の点灯	表示なし

＊：表示パターン（34ページ）によっては、アイコンが表示されません。

■ 卓上ホルダ（CH12K）を使って充電する

■ ACアダプタ（オプション品）を使って充電する

次ページへつづく ➡

ご使用になる前に

ご注意

- 充電の前に、USBコネクタの内部に異物等が付着していないことを確認してください。
- 充電の際、充電が完了していないにもかかわらず、ランプが短時間で消灯したときは、ACアダプタを接続し直してください。それでも消灯したままの場合は、電源プラグを抜いてウィルコムサービスセンター、京セラテクニカルサービスセンターにご連絡ください。
- 充電が完了した後、本機をACアダプタから取りはずし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ACアダプタを本機または卓上ホルダに差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- 本機の外部接続端子や充電端子、卓上ホルダの充電端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき外部接続端子を変形させないでください。
- 金属製ストラップを使用している場合は、ACアダプタをコンセントから抜くときにストラップが触れないよう注意してください。また、ストラップの金属部分が卓上ホルダの充電端子部分に触れないよう注意してください。
- バッテリーおよびバッテリーカバーが確実に取り付けられているかご確認ください(「バッテリーの交換」318ページ)。
- 「USB充電」(41ページ)を「OFF」に設定し、本機の電源をOFFにしてACアダプタで充電すると、充電時間は「USB充電」を「ON」に設定したときよりも長くなります。
- 「充電時LCD」を「ON」に設定しているときの充電時間は、「充電時LCD」を「OFF」に設定したときよりも長くなります。

お知らせ

- ACアダプタを使って充電する場合、充電中のメインディスプレイの照明は、「充電時LCD」の設定によって常時ONにすることもできます(「充電中の画面照明を設定する」208ページ)。ただし、24時間を経過すると節電画面になります。
- バッテリー残量によっては、ランプが赤色に点灯するまで数分〜20分程度かかる場合があります。

■ パソコンとUSBケーブル（別売）を使って充電する（USB充電）　機能番号98

USBケーブル（別売）でパソコンと接続中に、充電することができます。

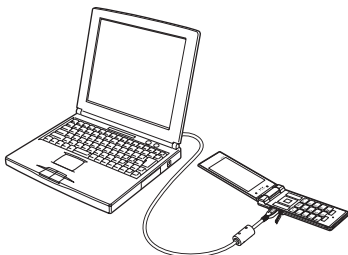
お買い上げ時：「ON」

待受画面で ■ ▶ 9 ▶ 8

以下の項目から選択します。

1 ON	USB充電を行います。
2 OFF	USB充電を行いません。

ご注意

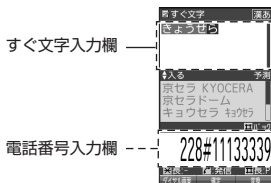
- 充電の前に、USBコネクタの内部に異物等が付着していないことを確認してください。
- USBケーブルで本機を充電するときは、直接パソコンに接続してください。このとき、パソコンの高温排気が本機にあたらないように、パソコンと本機を離してください。
- USBケーブルを本機に差し込むときは、向きに注意して、必ずコネクタ部分を持ってまっすぐ差し込んでください。また、取りはずすときはコード部分を引っ張らないで、必ずコネクタ部分を持って抜いてください。
- 「USB充電」を「OFF」に設定し、本機の電源をOFFにしても、USBケーブルを使ってパソコンと本機を接続すると充電が行われます。このとき、充電時間は「USB充電」を「ON」に設定したときよりも長くなります。

お知らせ

- USBケーブルで充電した場合の充電時間は約3.5時間です。ただし、接続するパソコンによって異なります。
- パソコンとUSBケーブルを使った充電は補助的な充電であり、充電用機器（卓上ホルダまたはACアダプタ（オプション品））で充電した場合と充電時間は異なります。
- 管理者ロックの「USB／Bluetooth接続時の通信を許可」（245ページ）が「許可しない」に設定されていても、USB充電は可能です。

電源をON／OFFにする

電源をONにする	**を長く（2秒以上）押す** 防水／防塵についての注意書きが表示された後、起動アニメーション表示時に電源がONになったことをお知らせする「ウェイクアップトーン」（201ページ）が鳴ります。電源ONのアニメーションが表示された後、待受画面が表示されます。
電源をOFFにする	**を長く（2秒以上）押す** 「設定を保存しています。バッテリーを外さないでください」のメッセージの後、電源OFFのアニメーションが表示され、電源が切れます。

待受画面での操作について

「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定すると待受画面で文字を入力できます。入力した文字はさまざまな機能に利用できます。
詳しい操作方法については、「待受画面で文字を入力してさまざまな機能を使う」（256ページ）をご参照ください。

メインメニューの使いかた

本機のメインメニューは、メニュー項目をお客様のお好みで設定できる「お気に入りメニュー」と、メニュー項目が固定されている「基本メニュー」から設定することができます。メインメニューを切り替えるには、以下の操作を行います。

待受画面で ■ ▶ 電話帳 **【基本メニューへ】／【お気に入りへ】を押してお好みのメインメニューを表示させる**

お気に入りメニュー（お買い上げ時の項目）　　基本メニュー（例：Silky Flow）

赤外線　カメラ　Java™
アクセサ　データフォルダ　microSD
Bluetooth　機能　メモ
お気に入りへ　選択　設定

基本メニューを設定する

基本メニューで表示される画面デザインは変更することができます。

お買い上げ時：
「Silent Motion」
本体カラー
・ブラック
・シルバー
「Dim Light」
本体カラー
・ピンク
「Silky Flow」
本体カラー
・ネイビー×ゴールド
・ホワイト×ゴールド

基本メニューで カメラ **【設定】を押す**

以下の項目から選択します。

1 固定メニュー	▶ 1～6（固定メニューを選択） 基本メニューに表示するデザインを、あらかじめ用意された6種類から選択します。
2 データフォルダ*	▶ データを選択し、■【選択】 基本メニューに表示するデザイン用データ（アレンジデータ）を、データフォルダから選択します。
3 公式サイトから探す	▶ 1「はい」を押す 公式サイトに接続して、基本メニューに表示するデザイン用データ（アレンジデータ）をダウンロードすることができます。

*：microSDカードのデータは選択できません。

ご注意

● お買い上げ時に基本メニューで表示される画面デザインは、本体カラーにより異なります。

お知らせ

● 1「固定メニュー」／2「データフォルダ」のデータを選択した後、カメラ【再生】またはカメラ【メニュー】▶ 1「再生」を押すと、選択したデザインを再生することができます。

お気に入りメニューを設定する

メインメニューのアイコン、項目をお好みにカスタマイズすることができます。よく使うメニューやデータなどお気に入りメニューに登録しておくと、すばやく呼び出すことができます。お買い上げ時は以下のように登録されています。

アイコン	項目	アイコン	項目	アイコン	項目
	アラーム（本体カラー：ブラック／シルバー／ピンク）		赤外線通信		電卓（本体カラー：ブラック／シルバー／ピンク）
	アクセサリ（本体カラー：ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド）				ブックマーク（本体カラー：ネイビー×ゴールド／ホワイト×ゴールド）
	京セラサイトK		データフォルダ		メモ
	基本項目		カメラ		カレンダー
	Yahoo! JAPAN		とりほ〜だい★らんど		mixiモバイル
	W+Book		公式サイト		dwango.jp（うた）

お気に入りメニューには以下の項目を15件まで登録できます。

項目			参照	項目		参照
機能設定の設定項目			—	Java™	Java™アプリ	277、278ページ
Bluetooth	Bluetoothメニュー		289、291ページ		Java™アプリの設定	279ページ
	Bluetoothメニューの各項目			データフォルダ	データフォルダ一覧	177ページ
赤外線通信			285、286ページ		データフォルダの各フォルダ	186ページ
					データフォルダに保存されている各ファイル	181、187ページ
メモ	メモ帳の起動とデータ		255ページ	WEB	WEBメニュー	132ページ
	音声／伝言メモ		57ページ		WEB設定の各項目	
	Myボイスメモ一覧		261ページ		URL	—
	ダイヤルメモ		260ページ	メール	メールメニュー	91ページ
アクセサリ	電卓		268ページ		メールメニューの各項目	
	アラーム		252ページ	カメラ	カメラメニュー	158ページ
	カレンダー		212ページ		カメラメニューの各項目	
		スケジュールデータと一覧	215、220ページ	電話帳	電話帳メニュー	—
		TODOデータと一覧	215、223ページ		電話帳データ	84ページ
	漢字チェック		259ページ	基本項目		—
	QRコードリーダー		276ページ			
	バックアップ		280ページ			
	USBマスストレージ		192ページ			
	災害用音声お届け		283ページ			

次ページへつづく

お気に入りメニューで [カメラ]【設定】

以下の項目から選択します。

お気に入り
メニュー設定画面

[1]項目登録	▶登録したい場所を選択し、[■]【選択】（▶[1]「はい」）* ▶登録したい項目を選択し、[■]【選択】 ■URLを登録する場合 ▶登録したい場所を選択し、[■]【選択】（▶[1]「はい」）* ▶[WEB]「URL」▶タイトル／URLを入力し、[■]【登録】 お気に入りメニューの項目を登録します。
[2]項目移動	▶移動したい項目を選択し、[■]【移動元】▶移動先を選択し、[■]【移動先】 お気に入りメニューの項目を移動します。選択した項目を解除するには、選択済みの項目を再度選択し、[■]【解除】を押します。 移動先にすでに項目があるときは、移動元と移動先が入れ替わります。
[3]項目削除	▶[1]「1件」、[2]「選択」、または[3]「全件」 お気に入りメニューの項目を削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。
[4]アイコン変更	お気に入りメニューの項目に表示するアイコンを変更します（45ページ）。
[5]アイコン作成	お気に入りメニューの項目に表示するアイコンを作成します（45ページ）。

＊：登録したい場所にすでに項目がある場合のみ操作します。

ご注意

- 「microSD」はmicroSDカード挿入時のみ登録できます。
- microSDカード未挿入の場合、すでにお気に入りメニューにmicroSDが登録されていても、「microSD」は選択できません。
- シークレット登録されている電話帳データは登録することができません。また、すでに登録している電話帳データをシークレット登録すると、項目から削除されます。
- 登録している元データを削除すると、お気に入りメニューの項目も削除されます。
- 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）を「許可しない」に設定すると、すでに登録しているお気に入りメニューの電話帳データは削除されます。

お知らせ

- お気に入りメニュー項目の登録は以下の手順でも行えます。

■メニューから登録する場合

お気に入りメニューに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択▶[カメラ]【メニュー】▶「ショートカット」を選択し、[■]【選択】▶登録したい場所を選択し、[■]【選択】（▶[1]「はい」）*

■操作ガイド表示エリアに【ショートカット】と表示されている場合

お気に入りメニューに登録したい機能の画面を表示、または項目を選択▶[カメラ]【ショートカット】▶登録したい場所を選択し、[■]【選択】（▶[1]「はい」）*

＊：登録したい場所にすでに項目がある場合のみ操作します。

■ お気に入りメニューのアイコンを変更する

お気に入りメニュー設定画面で ［4］**「アイコン変更」▶ アイコンを変更したい項目を選択し、［■］【選択】**

以下の項目から選択します。

［1］固定アイコン	▶ データを選択し、［■］【選択】▶［■］【OK】 項目に表示するアイコンを、あらかじめ用意されたデータから選択します。
［2］データフォルダ*	▶ データを選択し、［■］【選択】▶［■］【OK】 項目に表示するアイコンを、データフォルダから選択します。

＊：microSDカードのデータは選択できません。

■ お気に入りメニューのアイコンを作成する

データフォルダに保存されている画像をトリミングして、お好みのアイコンを作成することができます。

お気に入りメニュー設定画面で ［5］**「アイコン作成」▶ 使用したい画像を選択し、［■］【選択】▶ ［◇］でトリミングしたい場所を選択し、［■］▶［■］【保存】▶ ファイル名を入力し、［■］【確定】**

作成されたアイコンはデータフォルダ（メインフォルダ）の「アイコンタブ」に保存されます。

ご注意

● 画像サイズが「76×62」以下、または「2592×1944」より大きい場合は使用できません。

お知らせ

● ファイル名に入力できる文字数は、拡張子（.kico）を含め全角・半角共に40文字までです。
● アイコンの作成後は、ファイル名の末尾に「_i」の形式が付きます。
● 撮影モード（165ページ）を「アイコン」にして静止画を撮影してもアイコンを作成することができます。
● microSDカードの画像データをトリミングした場合は、microSDカードの「アイコンタブ」に保存されます。アイコンを登録するには、microSDカードの「アイコンタブ」から本体メモリに移動してください（「データフォルダのメニューを使う」186ページ）。

時計を設定する（日時設定）　機能番号51

待受画面などに表示される日付と時刻を設定します。アラームの設定や、着信履歴、発信履歴、ライトメールの受信日時、Eメール／ライトメールの送信日時、カレンダー（スケジュール、TODO）などは、ここで設定した日付に従って動作または表示します。

お買い上げ時：
「2013年1月1日00：00」
（停止した状態）

待受画面で　■ ▶ 5 ▶ 1 ▶ **西暦（4桁）、月（2桁）、日（2桁）、時刻（24時制）を入力し、■【確定】**

ご注意

- 以下のような場合、「日時設定」がお買い上げ時の設定に戻ることがあります。再度設定を行ってください。
  - ・長時間お使いにならなかった場合
  - ・バッテリーをはずしていた場合
  - ・バッテリー残量が完全になくなってしまった場合
- 日時設定を行わないと、アラーム、スケジュールの機能を使用することができません。

お知らせ

- 入力できる日付は、2013年1月1日〜2090年12月31日までです。
- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「壁紙オプション」（205ページ）で設定した方法で表示されます。

自動時刻補正の設定を行う（自動時刻補正）　機能番号52

パケット通信開始時にネットワークから時刻を取得して、待受画面などに表示する日付と時刻の補正を行うかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「ON」

待受画面で　■ ▶ 5 ▶ 2 ▶ 1 **「ON」または** 2 **「OFF」**

1「ON」に設定した場合は、パケット通信終了後に待受画面に戻ると時刻が補正されます。

お知らせ

- 時刻の補正は、お買い上げ時、日付が異なる場合、または時刻に約30秒以上の誤差がある場合に行われます。
- お客様ご自身で日付と時刻を入力することもできます（「時計を設定する」46ページ）。

時計に日付を表示させる（ピクト時計）　機能番号53

ピクト表示エリアの時計表示に、日付を表示させるかどうかを設定します。

お買い上げ時：
「日付＋時刻」

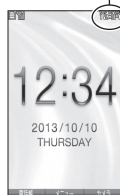
待受画面で　■ ▶ 5 ▶ 3

以下の項目から選択します。

1 **日付＋時刻**	日付と時刻を表示します。
2 **時刻**	時刻のみを表示します。

ピクト時計

お知らせ

- 時計の表示は12時間表示と24時間表示があり、「壁紙オプション」（205ページ）で設定した方法で表示されます。

各種情報をボイス通知でお知らせする

本機が閉じているときに、不在着信や新着メール、アラームなどの情報、時刻を音声でお知らせします。

本機を閉じている状態で **シャッター／メモ□（サイドキー）を押す**

ご注意

- 本機の状態によってはボイス通知でお知らせできない場合があります。音声読み上げができるようにするには、本体を開いて待受画面が表示された状態にしてから本体を閉じてください。

お知らせ

- お知らせする内容を変更したり、お知らせをしないようにすることもできます（「時刻や通知を声でお知らせするかどうかを設定する」200ページ）。
- マナーモード設定中は、マナーモードの「ボイス通知」の設定に従います（「マナーモードを設定／解除する」61ページ）。

電話をかける

電話番号を入力してかける

待受画面で **電話番号を入力し、[発信] ▶ 通話が終わったら[終話]**

受話部への耳の当てかたについては「スマートソニックレシーバー®について」（17ページ）をご参照ください。

ご注意

- 一般電話へかける場合には、必ず市外局番から入力してください。
- PHS／携帯電話へかける場合には、「0」から始まる11桁の電話番号を入力してください。
- レシーバー（受話部）から「ツーツー」と聞こえるときは以下のいずれかの状態です。
  - ・電波が非常に弱い地域
    いったん電話を切り、電波状態のよいところへ移動してから再度かけ直してください。
  - ・回線が混んでいる／相手が通話中
    いったん電話を切り、しばらくしてから再度かけ直してください。
- 通話時間の表示は目安です。
- 操作ロック（229ページ）の「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、電話をかけるときに暗証番号を入力する必要があります。また、「発信先限定」が「限定」に設定されているときは、「発信先一覧」（230ページ）に登録されている電話番号と完全一致、または前方一致する電話番号にのみ、電話をかけることができます。
- 管理者ロックの「発信を電話帳内の番号に限定」（241ページ）が「限定する」に設定されているときは、電話帳に登録されていない電話番号へ電話をかけることができません。ただし、「110番」（警察）や「119番」（消防・救急）などの特別な番号への電話はかけることができます。
- Bluetooth機能の子機モードでBluetooth機器と接続中は、発信をするときに発信方法の選択画面が表示されます。PHS回線で発信する場合は、[1]「PHS発信」を押してください。

お知らせ

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 「すぐ文字」（75ページ）を「ON」に設定して待受画面でダイヤルキーを押すと、画面上部に「すぐ文字」の入力欄、画面下部に電話番号の入力欄が表示されます。[電話帳]【ダイヤル画面】を押すとダイヤル画面が表示され、電話番号入力の各種操作を行えます。

ダイヤル画面では以下の操作を行うことができます。

■入力した電話番号を編集する

ダイヤル画面で[←→]でカーソルを移動 ▶ ダイヤルキーで番号を追加、または[戻る]で番号を削除

■発信方法を選択して電話をかける

ダイヤル画面で[カメラ]【メニュー】を押す

以下の項目から選択します。

184発信	入力した電話番号に184発信（自分の電話番号を通知しない）します。
186発信	入力した電話番号に186発信（自分の電話番号を通知する）します。
分計発信	入力した電話番号に分計サービスを利用して電話をかけます（「分計サービスについて（お申し込み必要）」314ページ）。
184分計発信	入力した電話番号に、184発信（自分の電話番号を通知しない）と分計サービスを利用して電話をかけます（「分計サービスについて（お申し込み必要）」314ページ）。
186分計発信	入力した電話番号に、186発信（自分の電話番号を通知する）と分計サービスを利用して電話をかけます（「分計サービスについて（お申し込み必要）」314ページ）。

● 相手がPHS／携帯電話の電源を切っているときや、電波の届かない地域にいるときは、音声ガイダンスでお知らせします。
● 最初に[通話]を押してから電話番号を入力してかけることもできます。
● 特定のISDN端末へ電話をかけるには、以下の手順で行います。

電話番号を入力 ▶ [＊] ▶ サブアドレス（ISDN独自の番号） ▶ [通話]

入力できるダイヤル桁数（電話番号＋[＊]＋サブアドレスの桁数の合計）は32桁までです。
● 待受中または通話中に「しっかリンク」を起動すると、その時点で最も強い電波を選択し、切り替えることができます。ただし、場所によっては電波状況が変わらないこともあります。通話中は、1回の通話につき3回まで起動できます。
「しっかリンク」を起動するには、以下の手順で行います。

待受画面または通話中に[◂]を長く（1秒以上）押す

● 通話中に電波状態が悪くなり通話が切れそうになると、「ピーピー」という圏外警告音が鳴ります。圏外警告音を鳴らすかどうかは設定を変更することができます（201ページ）。ただし、Bluetooth通話中は圏外警告音は鳴りません。
● 一度の通話時間が2時間を超える場合、2時間ごとに「ピピッ」というお知らせ音が鳴ります。ただし、Bluetooth通話中はお知らせ音は鳴りません。
● 発信中／通話中に本体を閉じると、発信／通話を終了します。ただし、以下の場合は発信／通話を終了しません。
  ・本機にイヤホン変換ケーブルが差し込まれている場合
  ・Bluetooth機能を利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で発信中／通話中
  ・Bluetooth通話で発信中／通話中
● 通話中に[■]【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。
  ・通話切り替え（Bluetooth機能でヘッドセット／ハンズフリー通話中のみ）
  ・機能
  ・電話帳
  ・カレンダー
  ・アクセサリ
  ・メモ
  ・着信拒否に登録（着信したときのみ）*
   *：Bluetooth着信では利用できません。
● 通話中にバッテリー残量が不足すると、「ピーピーピーピーピーピー」というバッテリー残量警告音が鳴ります。できるだけ早く充電してください。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。
● 電話番号を入力時に[＊]を長く（1秒以上）押すと「－（ハイフン）」を、[#]を長く（1秒以上）押すと「P（ポーズ）」を入力することができます。「－（ハイフン）」または「P（ポーズ）」を入力する場合、以下の点にご注意ください。
  ・電話番号が1桁も入力されていないときは、「－」や「P」は入力できません。
  ・「－」や「P」を続けて入力することはできません。
  ・「－」は電話番号の1桁分、「P」は2桁分入力したことになります。
● 「+（プラス）」付きの電話番号に発信すると、「+（プラス）」が「010」に変換されて発信されます。「+」は3桁分入力したことになります。ただし、「+81」と入力した場合は「+81」が「0」に変換されて発信されます。この場合は1桁分入力したことになります。
● 「節電画面」（210ページ）の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。
  ・「節電画面にしない」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に節電画面になります。
  ・「節電画面にしない」に設定している場合、通話開始時は5秒後に節電画面にはならず、設定どおり動作します。
● Bluetooth機能で、他の機器と接続して通話操作をすることができます。詳しくは「Bluetooth®を利用した通話操作をする」（300ページ）をご参照ください。
● だれとでも定額パス（302ページ）を利用しているときは本機で電話をかけることができません。

■ 緊急通報を行う

緊急の場合は、「110番」（警察）、「119番」（消防・救急）、「118番」（海上保安本部）などの特別な番号へ通報してください。

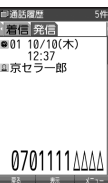
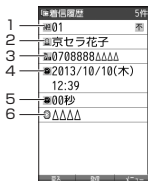
待受画面で **[1][1][0]、[1][1][9]、または[1][1][8]を入力し、[通話]**

ご注意

● 本機で緊急通報後（Bluetooth機能を利用した発信を含む）、以下の設定・操作をしていても5分程度の間はいかなる電話番号からも音声着信します。通報する場合は、通話が切れないように移動せずに通報し、通報後はすぐに電源を切らず、着信のできる状態にしておいてください。
  ・安全運転モード（64ページ）
  ・着信拒否（227ページ）
  ・管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」（242ページ）

発信履歴／着信履歴から電話をかける　機能番号13

以前にかけた相手の電話番号やかかってきた相手の電話番号は、それぞれ新しいものから30件まで記憶されます。30件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。発信履歴や着信履歴から電話をかけることができます。

待受画面で ▶（発信履歴）または◀（着信履歴）▶ 発信履歴／着信履歴を選択し、📞

例：発信履歴表示画面

ご注意

- シークレットモードを解除しているときは、シークレット登録されている電話帳の情報（名前）は表示されません（「シークレットモードを設定する」231ページ）。
- 管理者ロックの「発着信履歴の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているときは、発信履歴／着信履歴を利用することができません。

お知らせ

- 発信履歴／着信履歴を選択するときは、以下の手順で行います。
  ▼：新しい履歴順に表示します。
  ▲：古い履歴順に表示します。
- 発信履歴／着信履歴は◀▶を押して切り替えることができます。
- 発信履歴／着信履歴／不在着信履歴を表示するには、以下の手順でも行えます。
  待受画面で■ ▶ 1 ▶ 3 ▶ 1「発信履歴」、2「着信履歴」、または3「不在着信履歴」
- 発信履歴／着信履歴の詳細（発信履歴／着信履歴詳細表示画面）を表示するには、以下の手順で行います。
  発信履歴／着信履歴表示画面で履歴を選択し、■【表示】
  ・発信履歴／着信履歴の詳細表示画面
  1：履歴番号、アイコン
  2：名前
  3：電話番号または非通知理由（着信履歴の場合）
  4：発信／着信日時・曜日
  5：通話時間
  6：Bluetooth発信／着信、またはだれとでも定額パスでの発信／着信・機器名
- 発信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

発信履歴詳細表示画面

着信履歴詳細表示画面

アイコン	説明
分計	分計発信（分計発信（314ページ）した場合）

- 分計発信した発信履歴から電話をかけるときは、分計発信になります。
- 着信履歴画面に表示されるアイコンは、以下のとおりです。

アイコン	説明
不	不在着信（電話に出られなかった場合）
!	ワン切りの可能性あり（着信時間が3秒未満の不在着信があった場合）
拒	着信拒否（着信拒否機能により着信を拒否した場合「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ）
録	伝言メモあり（伝言メモ（57ページ）／安全運転モード（64ページ）で相手のメッセージを録音している場合）

- 発信履歴／着信履歴には通話できなかった場合も記憶されます。

■ 発信履歴画面／着信履歴画面のメニューを使う

待受画面で [▶]（発信履歴）または[◀]（着信履歴）▶ 発信履歴／着信履歴を選択 ▶ [カメラ]【メニュー】

以下の項目から選択します。表示される項目は、選択した履歴画面により異なります。

<table>
<tr><td>1 伝言メモの再生*1</td><td colspan="2">伝言メモを再生します。</td></tr>
<tr><td>2 発信</td><td colspan="2">■ 選択した電話番号に電話をかける場合
▶ [電話]または[■]【発信】
■ 選択した電話番号を編集して電話をかける場合
▶ 電話番号を編集し、[電話]または[■]【発信】
■ 選択した電話番号に特番を付加して電話をかける場合
▶ [カメラ]【メニュー】▶ 1「184発信」、2「186発信」、3「分計発信」、4「184分計発信」、または5「186分計発信」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 電話帳へ登録</td><td>1 新規</td><td>選択した履歴の電話番号を電話帳に新規登録します（「電話帳に登録する」76ページ）。</td></tr>
<tr><td>2 追加</td><td>▶ 追加登録する電話帳データを選択し、[■]【選択】▶ 登録先を「電話番号1～3」から選択し、[■]【選択】▶ [■]【登録】▶ 1「はい」
選択した履歴の電話番号を、すでに登録されている電話帳データに追加登録します。</td></tr>
<tr><td>4 ライトメール作成</td><td colspan="2">選択した履歴の電話番号を宛先としたライトメールを作成します（「ライトメールを作成して送信する」103ページ）。</td></tr>
<tr><td>5 表示切り替え</td><td colspan="2">▶ 1「1件」または2「一覧」
履歴表示を「1件表示」と「一覧表示」に切り替えます。</td></tr>
<tr><td>6 発信先限定へ登録*2</td><td colspan="2">選択した電話番号を発信先限定の発信先一覧に登録します（「登録した電話番号以外に電話をかけられなくする」230ページ）。</td></tr>
<tr><td>7 着信拒否へ登録</td><td colspan="2">選択した電話番号を着信拒否の指定番号一覧に登録します（「着信拒否する電話番号を設定する」227ページ）。</td></tr>
<tr><td>8 削除</td><td colspan="2">▶ 1「1件」、2「選択」、または3「全件」
発信履歴／着信履歴を削除します（「各機能の情報を削除する」273ページ）。</td></tr>
</table>

*1：伝言メモのある着信履歴を選択しているときのメニューで表示されます。
*2：発信履歴画面のメニューを表示しているときに表示されます。

スピードダイヤルを使う

スピードダイヤルを使って素早く電話をかけたり、Webページにアクセスすることができます。

■ スピードダイヤルで電話をかける

電話帳の電話帳No.000〜099に登録している電話番号へかける場合は、電話帳No.の下1桁または下2桁を入力し、[発信]を押すだけで電話をかけることができます。

待受画面で **電話をかけたい電話帳No.[0]〜[9][9]を入力し、[発信]**

ご注意

- 操作ロック（229ページ）の「スピードダイヤル」、「電話帳閲覧」、または「ダイヤル発信」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。
- 管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されているときは、スピードダイヤルを利用できません。
- シークレット登録した電話帳No.へは、シークレットモード設定中のみスピードダイヤルで電話をかけることができます（「シークレットモードを設定する」231ページ）。

お知らせ

- 電話帳に登録されていない電話帳No.を入力し[発信]を押すと、該当する電話帳データがないことを伝える画面が表示されます。
- 電話番号が複数登録されているときは、通常使用電話番号に電話をかけます。
- スピードダイヤルを使って、以下の操作を行うこともできます。
  - ・登録されているEメールアドレス宛のEメール作成画面を表示する
    待受画面で電話帳No.を入力（▶[電話帳]【ダイヤル画面】）＊▶[メール]を押す
  - ・登録されている電話番号宛のライトメール作成画面を表示する
    待受画面で電話帳No.を入力（▶[電話帳]【ダイヤル画面】）＊▶[メール]を長く（1秒以上）押す

  ＊：「すぐ文字」（75ページ）が「ON」に設定されているときに操作します。

■ スピードダイヤルでWebページにアクセスする

CCコードを入力し、[WEB]を押すだけで、Webページにアクセスすることができます。

待受画面で **アクセスしたいCCコードの番号をダイヤルキーで入力（▶[電話帳]【ダイヤル画面】）＊▶[WEB]**

＊：「すぐ文字」（75ページ）が「ON」に設定されているときに操作します。

ご注意

- 操作ロック（229ページ）の「スピードダイヤル」または「WEB」が「禁止」に設定されているときは、暗証番号を入力する必要があります。

自分の電話番号を相手に通知する（発信者番号通知） 機能番号15

「発信者番号通知」を「ON」に設定すると、電話をかけるとき、自分の電話番号を相手に通知します。パケット通信を行う場合は、「発信者番号通知」を「ON」に設定してください。

お買い上げ時：「ON」

待受画面で [■] ▶ [1] ▶ [5] ▶ [1] **「ON」または[2]「OFF」**

ご注意

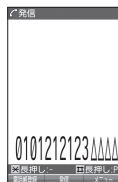
- PIAFS通信をする場合は、プロバイダーによっては「発信者番号通知」を[1]「ON」に設定する必要があります。

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービス（手続き不要）を利用して、世界約240の国と地域へかんたんなダイヤル方法で手軽に国際電話をかけることができます。

■ 本機から海外へかける場合

例：アメリカの「212－123－△△△△」へかける場合

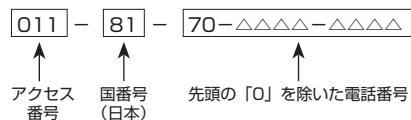
待受画面で

ご注意

● 相手先電話番号が「0」から始まる場合は、「0」を除いてダイヤルしてください（一部の国と地域を除く）。

お知らせ

● ウィルコム国際電話サービスについて
- ・国際電話をご利用の際、ウィルコムへのお申し込みは不要です。
- ・国際電話サービスは毎月のご利用限度額の制限はありません。一定の上限金額を設定するサービス（セーフティープラン）や、ご利用料金が一定額を超えるとメールでお知らせするサービス（一定額お知らせサービス）がご利用いただけます。詳しくはウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。
- ・国際電話サービスは、30秒単位での課金となります。
- ・国際通話料金は、毎月のウィルコムのご利用料金と合算してのご請求となります。
- ・ご利用を希望されない場合は、お申し込みにより国際電話サービスを利用不可にすることもできます。詳しくはウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。
- ・無料通話を含む料金プランをご契約いただいている場合、国際電話の通話料は無料通話の対象となります。ただし、「だれとでも定額」の無料通話の対象にはなりません。

■ 海外から日本国内の本機へかける場合

例：アメリカから本機「070－△△△△－△△△△」へかける場合

ご注意

● アクセス番号は、国によって異なります。

電話を受ける

着信中に ［発信キー］を押す

電話を受けることができます。
エニーキーアンサーを設定している場合は、0〜9、＊、＃、電話帳、メール、Bluetooth、アプリのいずれかのキーでも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定／解除する」266ページ）。

ご注意

- 電話の着信は、ほぼすべての操作よりも優先して行われます。
- パケット通信中の電話の着信設定（262ページ）が「停止」の場合、パケット通信中は着信できません。
- 着信拒否（227ページ）が設定されているときは、着信できる電話番号に制限がかかります。
- 赤外線通信での全件データ登録中は、電話の着信ができません。
- 操作ロック（229ページ）の「電話帳閲覧」が「禁止」、または管理者ロックの「電話帳の閲覧を許可」（246ページ）が「許可しない」に設定されていると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきても、電話帳に登録した名前は表示されません。
- 管理者ロックの「着信を電話帳内の番号に限定」（242ページ）が「限定する」に設定されていると、電話帳に登録されていない電話番号からの電話を受けることができません。

着信
Incoming call
WEB+- 着信拒否に登録
0701234ΔΔΔΔ
メモ

お知らせ

- 着信中は、以下の操作を行うことができます。

操作	内容
［上下キー］	着信音量を調節します。
戻るを長く（1秒以上）	着信音を停止させてバイブレータの振動に切り替えます（「着信中に着信音をバイブレータに切り替える」66ページ）。
シャッター／メモ［　］（サイドキー）または戻る	着信音のみを停止させます。
［終話キー］	着信音量およびバイブレータを「OFF」にします。
シャッター／メモ［　］（サイドキー）を長く（1秒以上）またはカメラ【メモ】	伝言メモで応答します（「電話に出られないときに応答して相手の声を録音する」57ページ）。
WEB	■ 着信拒否の指定番号一覧に登録して電話を切る場合 ▶ 1「切る+登録する」 ■ 電話を切る場合 ▶ 2「切る+登録しない」 着信中の電話を切る操作をします。 着信拒否（227ページ）で「拒否メッセージあり」に設定しているときは、「切る+登録する」を押すと電話を切るときに拒否メッセージが再生されます。

- 電源をOFFにしているときや、サービスエリア外にいるときにかかってきた電話を、他の電話に転送することができます（「着信転送サービスについて（お申し込み不要）」313ページ）。
- 通話中に電波状態が悪くなり通話が切れそうになると、「ピーピー」という圏外警告音が鳴ります。圏外警告音を鳴らすかどうかは設定を変更することができます（201ページ）。
- 電話をかけてきた相手が発信者番号を非通知にしている場合や、公衆電話からかけてきた場合などは、以下のように表示されます。

表示内容	非通知理由
ユーザ非通知	相手が番号通知を拒否している
通知不可能	番号通知ができないエリアや電話機からかけている
公衆電話発信	公衆電話からかけている

- 発信者番号にサブアドレスが含まれている場合は、電話番号の上の行にサブアドレスが表示されます。
- 通話中に本体を閉じると、通話を終了します。ただし、以下の場合は通話を終了しません。
  - ・本機にイヤホン変換ケーブルが差し込まれている場合
  - ・Bluetooth機能を利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中
  - ・Bluetooth通話で通話中

● 通話中に■【メニュー】を押すと、以下のメニューが表示されます。
・通話切り替え（Bluetooth機能でヘッドセット／ハンズフリー通話中のみ）
・機能
・電話帳
・カレンダー
・アクセサリ
・メモ
・着信拒否に登録（着信したときのみ）*
*：Bluetooth着信では利用できません。
● 通話中にバッテリー残量が不足すると、「ピーピーピーピーピーピー」というバッテリー残量警告音が鳴ります。できるだけ早く充電してください。バッテリー残量警告音を鳴らさないように設定することはできません。
●「節電画面」（210ページ）の設定によって、通話開始時の動作が以下のように変わります。
・「節電画面にしない」以外に設定している場合、通話開始時は設定にかかわらず5秒後に節電画面になります。
・「節電画面にしない」に設定している場合、通話開始時は5秒後に節電画面にはならず、設定どおり動作します。
● Bluetooth機能で、他の機器と接続して通話操作をすることができます。詳しくは「Bluetooth®を利用した通話操作をする」（300ページ）をご参照ください。

通話中に保留する（ミュート）

通話中に相手に待っていただきます。保留中はお互いに相手の声が聞こえません。

通話中に

1 カメラ **【ミュート】を押す**

相手には「少々お待ちください」の音声が繰り返されます。

2 **通話できる状態になったら** ▶ カメラ **【ミュート解除】**

相手と通話ができます。

ご注意

● ミュートとハンズフリーが同時に設定されているときは、相手の声は聞こえますが、自分の声は相手に聞こえません。また、保留中であることをお知らせする「少々お待ちください」の音声も相手に聞こえません。

通話中にプッシュ信号を送る

“ピッポッパッ”というプッシュ信号を送ることにより、留守番電話のリモート操作、チケット予約や宅配便の再配達依頼などのプッシュホンサービスを利用することができます。電話帳や発信履歴のダイヤルをプッシュ信号で送出する際に、番号と番号の間に「P（ポーズ）」を入れることにより、「P」の後の番号を一時停止させることができます。

例：△△運輸の配達に関するお問い合わせ「12」→配達状況の確認「34」の順に送信する場合*
　*：電話帳データに電話番号として『12P34』を登録しておきます。

△△運輸通話中に

1 **■ ▶「電話帳」を選択し、■【選択】▶ I「一覧」▶ 電話帳データを選択し、■【詳細表示】▶ プッシュ番号を登録した項目を選択 ▶ カメラ【メニュー】**

2 **「一括送出」を押す**

配達に関するお問い合わせ「12」までを送信します。

3 **を押す**

配達状況の確認「34」を送信します。

ご注意

- 電波状態が悪いと送れないことがあります。
- 通話中に「P」を入力することはできません。「P」は電話をかける前に入力しておくか、電話帳に登録しておく必要があります。
- 通話中にダイヤルキーを押して、番号を画面に表示しているときは、各種操作ができません。各種操作をするときは戻るを押して番号を削除してください。

お知らせ

- 通話中にダイヤルキーでプッシュ信号を送るには、以下の手順で行います。
  通話中にダイヤルキーを押す
- 電話帳の登録画面でP（ポーズ）を入力するには、以下の手順で行います。
  番号入力画面でP（ポーズ）を入力する前までの番号を入力 ▶ #を長く（1秒以上）押す
  入力した番号の後にP（ポーズ）が表示されます。

音声メモ／伝言メモを使う

音声メモを使って通話中に相手の声を録音したり、伝言メモで電話に出られないときに応答メッセージを流して相手の伝言を録音することができます。

お知らせ

- 伝言メモを設定しているときは、待受画面に「」が表示されます。
- 音声メモや伝言メモが録音されている場合は、待受画面に以下のアイコンと録音件数が表示されます。

アイコン	状態
	伝言メモ未設定
	伝言メモ設定中

- 録音件数は、音声メモ・伝言メモ・安全運転モード（64ページ）時に録音した相手のメッセージと合わせて、10件まで録音できます。1件の録音時間は約30秒までです。

通話中に相手の声を録音する（音声メモ）

通話中に相手の声を録音します。

通話中に ■ ▶「メモ」を選択し、■【選択】 ▶ 2「音声／伝言メモ」 ▶ 1「音声メモ録音」 ▶ 約30秒経過または■【停止】で録音終了

ご注意

- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、録音はできません。

お知らせ

- 音声メモの録音は、以下の手順でも行えます。
  通話中にシャッター／メモ（サイドキー） ▶ 約30秒経過または■【停止】で録音終了
- 録音できるのは相手の声だけです。自分の声は録音されません。

電話に出られないときに応答して相手の声を録音する（伝言メモ）

電話に出られないとき、自動的に応答メッセージを流して相手の伝言を録音します。

ご注意

- 録音中に録音時間がなくなったときは、録音を終了し、電話を切ります。
- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、伝言メモ応答時に応答メッセージを再生し、録音を行わずに電話を切ります。

■ 伝言メモを設定／解除する（伝言メモ設定）　機能番号61

待受画面で ■ ▶ 6 ▶ 1 ▶ 1「ON」または 2「OFF」

お買い上げ時：
「OFF」

ご注意

● マナーモード（61ページ）、安全運転モード（64ページ）設定中は、伝言メモの設定をすることができません。

伝言録音中画面

お知らせ

● 伝言メモの設定／解除は、以下の手順でも行えます。

待受画面でシャッター／メモ（サイドキー）を長く（1秒以上）押す
本体を開いた状態のときに操作を行ってください。
待受画面でシャッター／メモ（サイドキー）▶ 2「伝言メモ設定」▶ 1「伝言メモ設定」▶ 1「ON」または 2「OFF」
待受画面で■「メモ」を選択し、■【選択】▶ 2「音声／伝言メモ」▶ 3「伝言メモ設定」▶ 1「伝言メモ設定」▶ 1「ON」または 2「OFF」

● ウィルコムで提供している留守番電話サービス（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」310ページ）とは異なります。
● 本機の伝言メモと、留守番電話サービスの両方を利用されているときは、本機の伝言メモ応答時間と留守番電話センター呼び出し時間で短く設定されている方が優先されます。伝言メモ応答時間を変更するには「応答時間を設定する」（59ページ）、留守番電話センターの呼び出し回数を変更するには「留守番電話サービスの設定を変更する」（311ページ）をご参照ください。
● 伝言メモの設定にかかわらず、着信中に以下の操作で応答メッセージが流れ、相手の伝言を録音できます。

着信中にシャッター／メモ（サイドキー）を長く（1秒以上）押す

または

着信中に カメラ【メモ】を押す

● 伝言メモ録音動作中（応答メッセージ再生中や録音中）に、（通話キー）を押すと、伝言メモ録音動作を中断し、通話をすることができます。中断までの内容は録音されています。
● 応答メッセージは、固定メッセージとオリジナルメッセージから選択することができます（「応答メッセージを設定する」59ページ）。

■ 伝言メモの応答メッセージを録音する（応答メッセージ録音）　機能番号62

「応答メッセージ選択」（59ページ）で「オリジナル」を設定した場合に流れる応答メッセージを録音します。
応答メッセージは1件、約15秒まで録音できます。

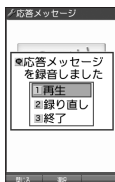
待受画面で ■ ▶ 6 ▶ 2 ▶ **録音開始** ▶

約15秒経過または■【終了】で録音終了

確認画面が表示されます。
確認画面では以下の操作を行うことができます。

確認画面

応答メッセージ
応答メッセージを録音しました
1 再生
2 録り直し
3 終了
閉じる　選択

1 再生	録音した応答メッセージを再生します。
2 録り直し	応答メッセージを録音し直します。
3 終了	応答メッセージを保存します。

お知らせ

● 上記手順の 2「応答メッセージ録音」を選択中に カメラ【メニュー】を押すと、以下の操作を行えます。

1 ショートカット	応答メッセージ録音画面をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
2 消去	▶ 1「はい」を押す 登録した応答メッセージを消去します。

■ 応答メッセージを設定する（応答メッセージ選択）　機能番号63

応答メッセージは、自分で録音するオリジナルメッセージと固定メッセージから選択できます。

お買い上げ時：「固定メッセージ」

待受画面で ■ ▶ 6 ▶ 3

以下の項目から選択します。

1 **固定メッセージ**	「ただ今電話に出ることができません。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
2 **オリジナル**	自分で録音した応答メッセージが流れます（「伝言メモの応答メッセージを録音する」58ページ）。

お知らせ

- 上記手順の 3 「応答メッセージ選択」を選択中に カメラ 【メニュー】を押すと、以下の操作を行えます。

1 **ショートカット**	応答メッセージの設定をお気に入りメニューへ登録します（「お気に入りメニューを設定する」43ページ）。
2 **再生**	選択した応答メッセージを再生します。

- 録音件数がすでに10件登録されている場合は、録音できません。「ただいま電話に出ることができません。後程おかけ直しください。」というメッセージが再生されます。

■ 応答時間を設定する（伝言メモ応答時間）　機能番号64

電話がかかってきてから伝言メモで応答を開始するまでの時間を設定します。応答時間は、「00秒」～「30秒」（1秒単位）の範囲で設定できます。

お買い上げ時：「15秒」

待受画面で ■ ▶ 6 ▶ 4 ▶ **伝言メモ応答時間（00秒～30秒）を入力し、**

■ **【確定】**

音声メモや伝言メモを再生／削除する（音声／伝言メモ一覧）機能番号66

音声メモと伝言メモに録音された内容や、安全運転モード時に録音された相手のメッセージの内容を待受中や通話中に聞くことができます。

待受画面で ■ ▶ 6 ▶ 6

音声／伝言メモ一覧画面

以下の操作を行います。

再生する	メッセージを選択し、■【再生】
削除する	メッセージを選択し、カメラ【削除】 ▶ 1「1件」、2「選択」、または3「全件」*

*：メッセージ選択後の操作は「各機能の情報を削除する」（273ページ）をご参照ください。

ご注意

● 通話中にミュート（55ページ）を設定しているときは再生できません。

お知らせ

● 音声／伝言メモ一覧画面は以下の操作でも表示できます。

■シャッター／メモ（サイドキー）から操作する場合

待受画面でシャッター／メモ（サイドキー） ▶ 1「音声／伝言メモ一覧」

■メニューから操作する場合

待受画面で／通話中に■ ▶ 「メモ」を選択し、■【選択】 ▶ 2「音声／伝言メモ」 ▶ 2「音声／伝言メモ一覧」

● 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面に表示される録音件数のアイコンが赤く表示されます。
● 通話中に音声メモを再生すると、音声メモの内容は相手と自分の両方に聞こえます。
● 再生中は、以下の操作を行うことができます。
・上下キー：音量を調節できます。
・左右キー：前または次の音声メモ／伝言メモを選択します。再生するには■【開始】を押します。
・■【停止】：再生が停止します。
・カメラ【削除】：音声メモ／伝言メモを削除します。
・電話帳：スピーカー／レシーバー（受話部）での再生を切り替えます。
※通話中は切り替えることができません。
● 音声／伝言メモを再生したときの音量と、受話音量（66ページ）は同じ音量になります。また、どちらかの音量を変更するともう一方の音量も同じ大きさになります。
● 音声／伝言メモ一覧画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

音	音声メモ
伝	伝言メモ
未	伝言メモが未再生

● スピーカーで再生中にイヤホン変換ケーブルを差し込むと、自動的にイヤホンからの再生に切り替わります。

マナーモードを設定／解除する（マナーモード） 機能番号＊

お買い上げ時：
「マナーモード解除」

公共の場所で音を鳴らさないようにしたいときなどは、マナーモードにします。本機には4つのモードが用意されています。お買い上げ時は「マナーモード解除」に設定されており、初めてマナーモードを起動した場合は「標準マナーモード」が起動します。
各マナーモード設定時に待受画面に表示されるアイコンは以下のとおりです。

標準マナーモード		オリジナル1マナーモード	
サイレントマナーモード		オリジナル2マナーモード	

■ 設定する場合

待受画面で　戻る **を長く（1秒以上）押す**

前回選択したモードでマナーモードが設定されます。

■ 解除する場合

待受画面で　**マナーモード設定中の状態で、** 戻る **を長く（1秒以上）押す**

お知らせ

- マナーモードを設定した場合、確認のバイブレータが約2秒間振動します。
- モードを選択して設定する場合は、「モードを選択して設定する」（62ページ）をご参照ください。
- 本体を閉じているときの設定／解除は、以下の手順で行います。
  待受画面でシャッター／メモ　（サイドキー）を長く（1秒以上）押す
- マナーモードの解除は、以下の手順でも行えます。
  待受画面で（マナーモード設定中の状態で）■ ▶ ＊ ▶ 5「マナーモード解除」

基本的な使いかた

モードを選択して設定する

待受画面で ■ ▶ ＊ ▶ 1「標準マナー」、2「サイレントマナー」、3「オリジナル1マナー」、または 4「オリジナル2マナー」

マナーモード設定中は以下の設定になります。

機能		「標準マナー」	「サイレントマナー」	「オリジナル1マナー」	「オリジナル2マナー」
音声着信	音量	OFF	OFF	各マナーの設定によります（「オリジナルマナーを登録する」63ページ）。	
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
Bluetooth着信	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
Eメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
ライトメール受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
お知らせシェア受信	音量	OFF	OFF		
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
アラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
スケジュールアラーム	音量	OFF	OFF		
	バイブレータ設定	ON「パターン1」	OFF		
操作音		OFF	OFF		
データ再生音		OFF	OFF		
ボイス通知		バイブレータ*	バイブレータ*		
ウェイクアップトーン		OFF	OFF		
伝言メモ設定		ON	ON		
ライトメール送達確認音		OFF	OFF		

*：「ボイス通知」（200ページ）を「各種通知」に設定しているときは、通知の内容によりバイブレータのパターンが異なります。

ご注意

- カメラ撮影時のシャッター音、録画開始・終了音は、マナーモード設定中でも鳴ります。また、セルフタイマーで撮影する場合、「撮影セルフタイマー音設定」（169ページ）または「録画セルフタイマー音設定」（173ページ）が「ON」に設定されていると、マナーモード設定中でもセルフタイマー音が鳴ります。

お知らせ

- 以下の手順でも、モードを選択して設定することができます。
  待受画面で 戻る ▶ 1「標準マナー」、2「サイレントマナー」、3「オリジナル1マナー」、または 4「オリジナル2マナー」

オリジナルマナーを登録する（オリジナルマナー編集）

マナーモードの設定をお好みに合わせて変更し、オリジナルマナーとして2種類登録できます。

待受画面で

1 **[■] ▶ [✱] ▶ 「オリジナル1マナー」または「オリジナル2マナー」を選択し、[カメラ]【設定】**

以下の項目から選択します。

項目	設定	操作・説明
[1]音声着信	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 電話がかかってきたときの着信音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 電話がかかってきたときのバイブレータを設定します。
[2]Bluetooth着信	[1]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 Bluetooth着信があったときのバイブレータを設定します。
[3]Eメール受信	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 Eメールを受信したときの受信音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 Eメールを受信したときのバイブレータを設定します。
[4]ライトメール受信	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 ライトメールを受信したときの受信音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 ライトメールを受信したときのバイブレータを設定します。
[5]お知らせシェア受信	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 「お知らせシェア受信」（197ページ）設定中に、通知があったときの通知音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 「お知らせシェア受信」（197ページ）設定中に、通知があったときのバイブレータを設定します。
[6]アラーム	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 アラーム鳴動時の音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 アラーム鳴動時のバイブレータを設定します。
[7]スケジュールアラーム	[1]音量	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 スケジュールアラーム鳴動時の音量を設定します。
	[2]バイブレータ設定	▶ [1]「OFF」、またはパターンを選択し、[■]【選択】 スケジュールアラーム鳴動時のバイブレータを設定します。
[8]操作音	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 キーを押したときの音量を設定します。	
[9]データ再生音	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 データフォルダのメロディなどを再生するときの音量を設定します。	
[0]ボイス通知	▶ [↕]で音量を調節し、[■]【OK】 ボイス通知（200ページ）を再生するときの音量、またはバイブレータを鳴動させるかどうかを設定します。	
[✱]ウェイクアップトーン	▶ [1]「ON」または[2]「OFF」 電源を入れたときの確認音を鳴らすかどうかの設定をします。	

次ページへつづく ➡

#伝言メモ設定	▶ 1「ON」または2「OFF」 伝言メモ応答するかどうかの設定をします。
ライトメール送達確認音	▶ 1「ON」または2「OFF」 ライトメールの送信成功時に確認音を鳴らすかどうかの設定をします。

2 カメラ【登録】を押す

ご注意

● オリジナルマナー設定中は、設定中のオリジナルマナーのみ各種設定を変更することができます。他のマナーモードに設定中の場合はいったんマナーモードを解除する、または変更したいオリジナルマナーに設定してから各種設定を行ってください。

安全運転モードを設定／解除する（安全運転モード）

運転中に電話がかかってきたとき、運転の妨げにならないように、着信音やバイブレータを「OFF」に切り替えることができます。このとき相手には、運転中のため通話ができないことをお知らせし、相手のメッセージを録音できます。録音件数は、安全運転モード時に録音した相手のメッセージ・伝言メモ（57ページ）・音声メモ（57ページ）と合わせて10件まで録音できます。メッセージの再生／削除方法は「音声メモや伝言メモを再生／削除する」（60ページ）をご参照ください。

■ 設定する場合

待受画面で **#を長く（1秒以上）押す**

確認画面が表示されます。表示を消すには■、戻る、または⏎のいずれかのキーを押します。

■ 解除する場合

待受画面で **安全運転モード設定中の状態で、#を長く（1秒以上）押す**

ご注意

● 緊急通報（49ページ）後、5分程度の間は安全運転モードを設定していても、いかなる電話番号からも音声着信します。
● 安全運転モード設定中は、伝言メモ設定を変更することができません。
● 伝言メモ設定中の場合、安全運転モードを設定すると、伝言メモ設定は解除されます。また、安全運転モードを解除すると伝言メモは設定中の状態に戻ります。
● 応答メッセージ再生中や、相手のメッセージを録音しているときは、✆を押しても通話できません。

お知らせ

● 安全運転モードに設定すると、待受画面に「🚗」と「Ⓢ」が表示されます。また、設定中であることをお知らせするアイコンが表示されます。
● 安全運転モードに設定すると、相手には以下のようなメッセージでお知らせします。

伝言の録音ができるとき	「ただ今車を運転しています。ピーッと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」
伝言の録音ができないとき	「ただ今車を運転しています。後程おかけ直しください。」

● 安全運転モード設定中でも、通常どおり電話をかけることができます。
● 安全運転モードを解除すると、着信音やバイブレータは安全運転モードを設定する前の設定に戻ります。

応答先を設定する　機能番号65

安全運転モードの応答先を、本機（電話機応答）とウィルコムの留守番電話センター（ネットワーク応答）から設定することができます。

お買い上げ時：「電話機応答」

待受画面で　■ ▶ 6 ▶ 5

以下の項目から選択します。

1 電話機応答	本機で応答し、相手のメッセージを本機に録音します。
2 ネットワーク応答*	ウィルコムの留守番電話センターで応答し、相手のメッセージをウィルコムの留守番電話センターに録音します（「留守番電話サービスについて（お申し込み必要）」310ページ）。サービスの詳細については、ウィルコムサービスセンターまでお問い合わせください。

*：メッセージの再生方法については、「メッセージを聞く」（311ページ）をご参照ください。

ハンズフリーで通話する（インタラクティブハンズフリー）

通話中に相手の声をスピーカーから流して通話します。本機を手に持たずに相手と話すことができます。ハンズフリー通話中も双方向通話となり、通常の通話と同様に話すことができます。

通話中に　アプリ **「ハンズフリー」を押す**

ご注意

- ミュートとハンズフリーが同時に設定されているときは、相手の声は聞こえますが、自分の声は相手に聞こえません。また、保留中であることをお知らせする「少々お待ちください」の音声も相手に聞こえません。
- 本機の音量を上げすぎたり、相手が大きな声を出した場合などに、スピーカーからの音声が音割れすることがあります。
- 以下の場合はハンズフリー通話できません。
  - ・イヤホン変換ケーブルを接続中
  - ・安全運転モード設定中
  - ・Bluetooth機能を利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中

お知らせ

- ハンズフリー通話中は、通話中の画面に「🔊」が表示されます。
- ハンズフリー通話中に、アプリ「ハンズフリー解除」を押すとハンズフリーが解除されます。
- はっきり通話中（67ページ）にハンズフリーに設定すると、はっきり通話が一時的に解除されます。通常の通話状態に戻ると、はっきり通話で話すことができます。

小さな声で話せるように設定する（マナートーク®）

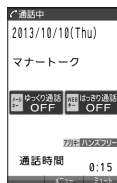
公共の場所や静かな場所で、まわりの方に迷惑をかけないように小さな声で話せるように設定します。マナートーク中は小さな声でお話しても、相手には通常の声の大きさで伝わります。

お買い上げ時：「OFF」

通話中に　戻る **を長く（1秒以上）押す**

お知らせ

- マナートーク設定中に、再度戻るを長く（1秒以上）押すと解除されます。また、通話を終了すると解除されます。
- マナートーク設定中は、相手の声も少し大きく聞こえます。ただし、受話音量を最大にしているときは変わりません。

基本的な使いかた

着信中に着信音をバイブレータに切り替える（マナー着信）

着信中、鳴っている着信音を停止させてバイブレータの振動に変えることができます。

着信中に　戻るを長く（1秒以上）押す

お知らせ

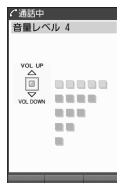
● マナー着信に切り替えてから電話を受けるには、［通話キー］を押します。エニーキーアンサーを「ON」に設定している場合は、0～9、＊、＃、電話帳、メール、Bluetooth、アプリでも電話を受けることができます（「エニーキーアンサーを設定／解除する」266ページ）。

通話中に受話音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを「音量レベル1」（最小）～「音量レベル5（でか）」（最大）の5段階に調節します。

通話中に　［上下キー］で音量を調節する

お知らせ

●「音量レベル5（でか）」に設定すると、相手の声が全体的に大きくなり、小さな声でもより聞こえやすくなるように補正されます。ただし、Bluetoothを利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中や、Bluetooth通話中は補正機能は利用できません。

相手の声がゆっくり聞こえるように設定する（ゆっくり通話）

通話中に、相手の声がゆっくり聞こえるように設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に　メールを押す

ご注意

● ゆっくり通話は、ミュート中は設定できません。

お知らせ

● ゆっくり通話中に、再度メールを押すと解除されます。また、通話を終了すると解除されます。
● ゆっくり通話は以下の場合でも設定が継続されます。
  ・ハンズフリー通話中
  ・マナートーク中
  ・イヤホン変換ケーブル利用中
  ・通話中メニュー利用中
  ・通話中のダイヤル入力時
  ・はっきり通話中
● Bluetooth通話中でもゆっくり通話を利用できます。
● イヤホン変換ケーブルを利用すると、イヤホンからの音声もゆっくり聞こえます。

相手の声がはっきり聞こえるように設定する（はっきり通話）

通話中に、相手の声が大きくはっきり聞こえるように設定します。

お買い上げ時：
「OFF」

通話中に　WEB **を押す**

ご注意

- 以下の場合は、はっきり通話を設定できません。
  - ・ハンズフリー通話中
  - ・ミュート中
  - ・Bluetoothを利用したヘッドセット／ハンズフリー機器で通話中
  - ・Bluetooth通話中

お知らせ

- はっきり通話中に、再度WEBを押すと解除されます。
- 通話を終了しても、はっきり通話の設定の内容は継続されます。
- はっきり通話は以下の場合でも設定が継続されます。
  - ・マナートーク中
  - ・イヤホン変換ケーブル利用中
  - ・通話中メニュー利用中
  - ・通話中のダイヤル入力時
  - ・ゆっくり通話中
- イヤホン変換ケーブルを利用すると、イヤホンからの音声もはっきり聞こえます。

サイドキーの操作を無効にする（サイドキー操作無効）

本体を閉じた状態のとき、シャッター／メモ　（サイドキー）を操作無効にします。

お買い上げ時：
「OFF」

待受画面で　* **を長く（1秒以上）押す**

お知らせ

- サイドキー操作無効を設定すると、待受画面に「SIDE」が表示されます。
- サイドキー操作無効の設定は、本体を閉じている状態でのみ有効です。本体を開いた状態にすると、サイドキー操作が有効となります。
- サイドキー操作無効を解除するには、本体を開いたときに再度、*を長く（1秒以上）押します。